



寛文五年卯月下旬  
板橋志広殿家  
柿本人麿像

一 柿本人麿像 (三八八―一二)  
紙本墨画 一枚 二七一×四〇九  
寛文五年(一六六五)

(右上墨書)「寛文五卯月下旬／板橋志広殿家老へ」

〔裏〕

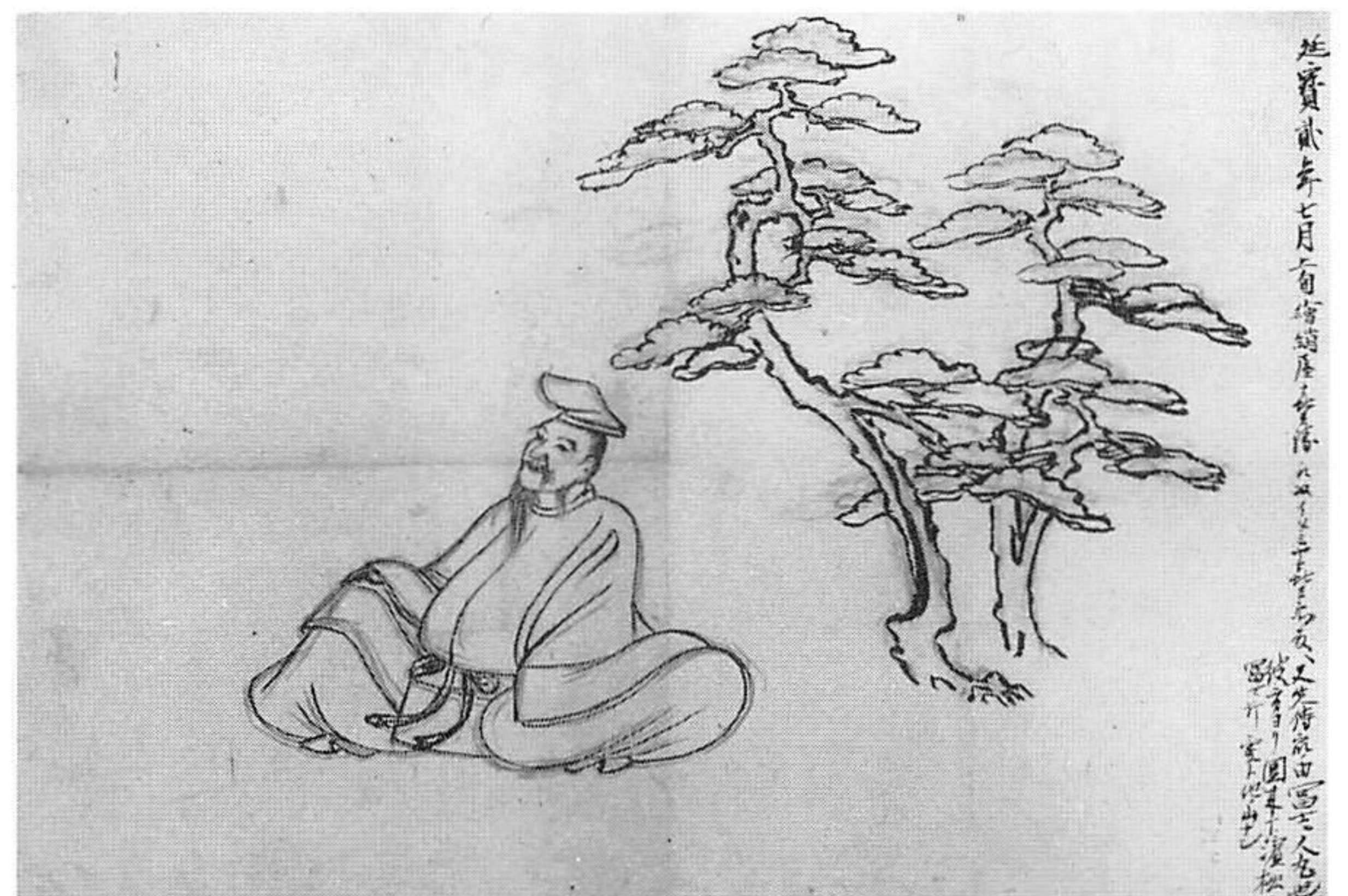
(右墨書)「塗師九郎兵衛より返ル」  
(左墨書)「塗師九」



寛文八申二月下旬  
入谷道宅へ

二 柿本人麿像 (三八八―一五)  
紙本墨画 一枚 四六七×五二二  
寛文八年(一六六八)、元禄一二年(一六九九)  
元文五年(一七四〇)  
胡粉による修正あり

(右上墨書)「寛文八申二月下旬／入谷道宅へ」  
(右下墨書)「ハハ老尺六寸六ふ／上下三尺八寸八ふ」元禄十二年乙卯三月下旬／奥州松平越前守殿御用／次に田邊喜右衛門自分ノ「此通元文五七月／烏丸様御好ニテ別植主計殿取次上ノ色紙泥絵述同断」  
(右上墨書)「色紙大サ／立五寸五フ／ハハ四寸／此／泥引泥絵也／上如此明テ／二寸計／ハナ如此也」アサキ／キ／朱／白／チリ候ハナシ」  
(賛)「和歌之仙稟性千天／其才卓尔其鋒森然／三十一字詞花露鮮／四百餘歳来葉風傳／斯道宗匠我朝先賢／涅而無縊鑽之弥堅／鳳毛少巢麟角猶專／既謂獨歩誰敢比肩／ほの／と明石の／浦のあさ霧に／しま隠行／舟／をしそ思」



延寶貳年七月上旬繪絹屋喜兵衛  
又先侍衆ノ由富士  
人丸也／彼方ヨリ図来下濱松ナミ書／富士計  
雲ト他ノ山ナシ

三 柿本人麿像 (三八八―一五)  
紙本墨画 一枚 二七六×四〇一  
延宝二年(一六七四)

(右上墨書)「延寶貳年七月上旬繪絹屋喜兵衛取次イタミヤ喜兵衛殿へ又先侍衆ノ由富士人丸也／彼方ヨリ図来下濱松ナミ書／富士計雲ト他ノ山ナシ」



信實卿筆寫  
延寶八年八月廿八日堀正朴老々  
覽す正筆ト申遣地絹／裝束無紋

四 柿本人麿像 (三八八―三一)  
紙本墨画 一枚 五九三×三五八  
延寶八年(一六八〇)

(左上墨書)「信實卿筆寫」延寶八年閏八月廿八日堀正朴老々「覽す正筆ト申遣地絹／裝束無紋」  
〔画中色指示〕  
(帶)「白／チャ／チャ／白／チャ／白」  
(衣)「朱ノグ／朱／朱／朱／朱／朱ノグ／朱／朱ノグ／朱ノグ／朱ノグ／朱ノグ」  
(硯)「マキ／エ／ムメ／チラシ」





八 柿本人麿像 (三八八一—二)  
紙本墨画 一枚 四一×二六四  
元禄十二年(一六九九)

(右墨書)「此画箱書付ニ画土佐筆賛円山ト有三宅新右衛門殿元禄十二年己卯六月十七日夕暮来不知と申返紙ノ内堅二尺アマリ横八寸斗ノ若委吟味有度ハ昼今一度披見暮度不見分と申遣是ハヨク物ニ此類有ニセモノ又キタリ前見申候物ニナラシ候」  
(賛左から)「朝海己洋溢ノ超明石浦瀾ノ行舟藏跡處ノ莫心霏中看ノ野积然松拜賛描印(円山)」



九 柿本人麿像 (三八八一—二八)  
紙本墨画 一枚 五六一×四〇五  
正徳三年(一七一三)

(右上墨書)「正徳三年九月池西言水殿へ越前守行光ニ極添状遣ス」  
〔画中色指示〕  
(衣右)「モム色文クロクミユルノ銀泥可為者」  
(衣)「白アイラウクマム文ノウスモム色ノアサキム文ノ朱ノ朱」  
(硯箱)「硯箱外内共地クロノウスナシジ文梅金ノ硯石ノフチ金中シドノクロキノノ筆シクサヤ皆ワウドノグノ墨ノエシド水入ワウドノグノシドノ金ノシド」



一〇 柿本人麿像 (三八八一—四三)  
紙本墨画 一枚 一〇二八×八二三  
享保五年(一七二〇)  
(右下朱文方印)「画所ノ預之ノ印」

(左上墨書)「享保五年十二月廿七日ノ永原久平殿取次長崎屋嘉平殿へ信實ニ極メ遣絹地此大サ」  
(中上墨書)「此通下込打タル跡ノヤウニキズアリ」  
(色紙形)「ほの／＼とあか／＼のうらの／あさ霧ノにノ嶋かくれ行ノふねをしノそ／おもふ」  
(色紙形下墨書)「朱ノ白」



一一 柿本人麿像 (三八八一—三七)  
紙本墨画 一枚 九二〇×四〇〇

(色紙形右下墨書)「惣長三尺ノ惣巾一尺三寸」  
(右下墨書)「たて下式寸八歩」  
〔画中色指示〕  
(色紙形)「花田ノ黄ノ朱ノ胡粉」  
(装束)「赤ノ白ノアノアノアノ白ノアノアノ白ノ薄ノ薄朱ノ薄朱ノ薄水ノアノ朱ノ薄朱ノ朱ノ薄」  
(硯箱)「内外黒ノ朱ノキリ朱ノ墨挾朱」



一二 柿本人麿像 (三八八―三九)  
紙本墨画 一枚 一一〇三×四一六

(右下墨書)「江州彦根を為見ニ来ノ越前守行光筆ニ而可有と申遣」

(色紙形・右二面左から右へ)「宇羅乃ノ幾里介志満加久連遊ノ具不祢遠之ノ曾思婦」

(同左二面右から左へ)「梅能花曾禮ノ登もみえずノ久堅のあまののふ」  
〔衣〕「薄色」



一三 柿本人麿像 (三八八―一六)  
紙本墨画 一枚 四四二×四一五

(左墨書)「藤本宗但老を来信實ニテモ可有由申遣代銀四五枚にて候御取かへ使程ニハ何時モ主有へキと申遣賛有何時モウレヨキ代聞度トノ事也」



一四 柿本人麿像 (三八八―三三)  
紙本墨画一部朱彩 一枚 四五五×三七八

(右上墨書)「近衛殿ニ有信真之筆」  
(左上墨書)「此人丸ノ上ニ色紙ノ四枚ニシテ青黄朱白也ノ下繪有ノ……」  
〔画中色指示〕  
(顔横)「目ノ玉朱墨ヲ入ル」  
(衣)「白ノアサキノモンノナシノ白ノ白ノ白」  
〔裏〕  
(右上墨書)「佐ノ有」



一五 柿本人麿像 (三八八―一三)  
紙本墨画淡彩 一枚 三六九×三七三

〔画中色指示〕  
(硯箱)「ツマ切〇<sup>ソハ</sup>此シナニワトースジノマク地シド」  
(小刀)「此ニスジキンノシド」  
(筆)「六ノシド」  
(水指)「スミノゲノコン」



一七 柿本人麿像  
 紙本墨画一部淡彩 一枚 四九三×六六九  
 (三八八—二三)  
 (賛)「ほのくくと／明石の／浦の／朝霧に／  
 嶋／かくれ行／船をしそ／思ふ」  
 (右上墨書)「上下此紙ノタケ」  
 (左下墨書)「端此紙ノタケ」



一六 柿本人麿像  
 紙本墨画一部朱彩 一枚 三九三×三四二  
 (三八八—一九)  
 [画中色指示]  
 (硯)「スミ／スミ／マキエ」



一九 柿本人麿像  
 紙本墨画 一枚 四一六×三四一  
 (三八八—一八)  
 明暦三年(一六五七)  
 胡粉による修正あり  
 (右上墨書)「聖護院様へ／上ヶ候とめ」  
 (左上墨書)「明暦三年／正月廿六日」



一八 柿本人麿像  
 紙本墨画 一枚 二三九×二三九  
 (三八八—一一)



二〇 柿本人麿像(三八八一三八)

紙本淡彩 一枚 八〇〇×三九三

寛文五年(一六六五)

(右下墨書)「信真筆ト極遣 時代三百年計ノアマリノ物也」  
スミケン / 寛文五年上旬ニ写

(賛)「このまゝにすか/たをかりてもろ/人の歌の情は/あらはれに/けり」

(色紙形)「梅のはなそれとも/みえず久かたの/あまきるゆき/のなへてふれは」

「ほのく/とあか/しのうらの/あさ霧/にしま/かくれ/行/ふねをし/そ/おもふ」

〔画中色指示〕

(色紙中)「浅黄/白」

(衣)「白紋ゴフン」

(硯)「梅金」



二一 柿本人麿像(三八八一三六)

紙本墨画 一枚 八六四×三六三

延宝四年(一六七六)元禄三年(一六九〇)享保三年(一七一八)

土佐光成

(左中墨書)「延宝四年三月十四日写光成」

(右中墨書)「讚為家了作札有/繪法性寺信實正筆 此人丸元禄三年十一月廿日/池西言水老ヨリ来 信實ト申遣」

(右上墨書)「享保三 三月十七日西村惣左衛

門殿が来/信實と添状遣光芳」

(色紙形)「梅花それとも/ミえずひさかたのあまきるゆき/のなへてふれは/ほのく/と明石の/うらのあさき/りに/しまかくれ/ゆくふねを/しそ/おもふ」

(色紙形上端)「色紙形/三枚共繪/有不見」

「是が上ハヒヤウグ也是迄ノ大サ」

〔画中色指示〕

(色紙形)「泥絵有/此色紙ノ所如此ハシタニ/スミ書フトク引/ウス/わウ/ト/白/白六/生エンシノグ/ウス/ワウト/泥繪有/如此兩ノわキ少ツム半ノ色紙形/木也」

(風景)「松如此コイスミ/ニテ書」  
 「惣水/コマカニ書/嶋コフンクマ」

(烏帽子)「コイスミ/ハタスミ書無」

(直衣)「ナヲシノ文コフンニテ/コク」

(袴)「文コフン/ハカマモ白」

(硯箱)「内モクマ/朱/朱/白/ウスムミ/白/コイスミ/梅ノ花金/如此」



二二 柿本人麿像(三八八一四一)

紙本墨画 一枚 七一〇×四〇五

元禄五年(一六九二)享保六年(一七二二)

(左上墨書)「賛後花園御辰<sup>マツ</sup>翰ノ由」  
 元禄五年申九月上旬里村寿石老頼/信實と云傳 極遣札遣墨絵也/此画写ハ前が有 大黒や常順モタレ候道具也」

(左中墨書)「水田長隣老 正徳六四月上旬ニ持参 光成極札有 成欵正真ト/申遣」

(右中墨書)「享保六年 丑 五月朔日玉木兵庫殿取次 谷長右衛門殿へ極メ遣」

(賛)「龍田河もみち葉/なかる神なびの/みむろの山に/しくれふる/らし」

(右上墨書)「此凡ニ寸アマリアリ」



二三 柿本人麿像(三八八一三〇)

紙本墨画 一枚 五四九×三七六

享保六年(一七二二)

(右中墨書)「享保六<sup>辛</sup>巳曆七月上旬」

(右下墨書)「植松屋伊兵衛殿取次/依所望此図申候」

(左下墨書)「赤鬼」



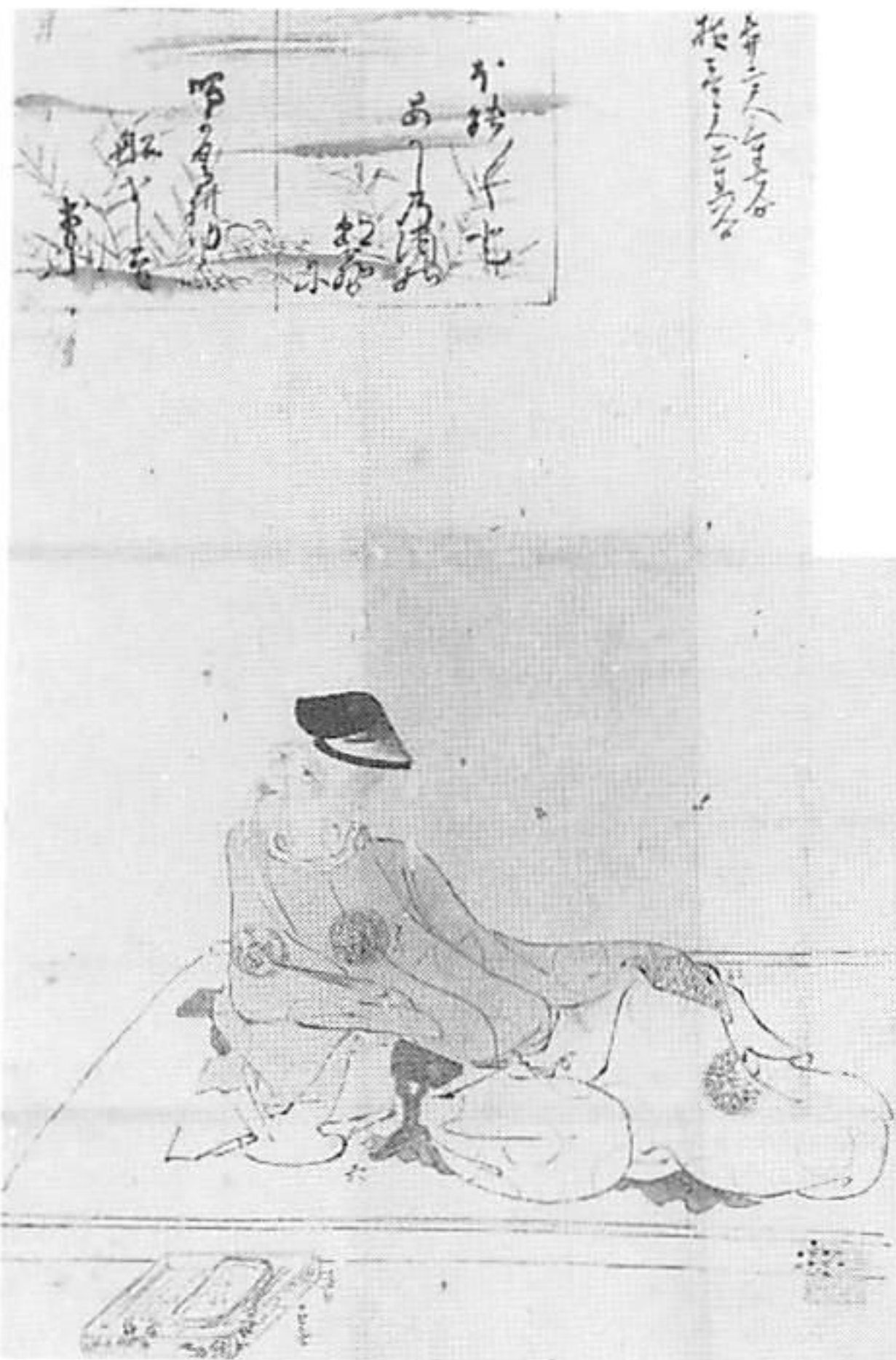
二四 柿本人麿像 (三八八一—二)  
紙本墨画一部淡彩 一枚 六二二×四九四  
〔画中色指示〕  
「黄土ヲ／有カ無カニ／引ヘシ／あいらふい  
かにも／有か無かに引」  
〔裏〕  
〔右上墨書〕「人丸」



二五 柿本人麿像 (三八八一—三四)  
紙本墨画 一枚 三九九×三二五  
元禄三年(一六九〇)  
土佐光高  
胡粉による修正あり  
〔右上墨書〕「元禄三年五月下旬坂口立益老取  
ツキ」  
〔右下墨書〕「図 光高図」



二六 柿本人麿像 (三八八一—一〇)  
紙本墨画 一枚 三二〇×四〇五  
元禄三年(一六九〇)  
〔右上墨書〕「元禄三年午十二月月中旬／大坂手  
嶋十左衛門へ／中尊／両脇伊勢小町／是ハ将  
監左兵衛」



二七 柿本人麿像 (三八八一—二六)  
紙本墨画一部淡彩 一枚 五八八×三八七  
〔右下朱文方印〕「画所／預之／印」  
〔色紙形〕「ほの／と／あかしの浦の／朝霧  
に／島かくれゆく／船をしそ／おもふ」  
〔右上墨書〕「長サ二尺三寸七分／横七尺二寸  
八分」  
〔画中色指示〕  
〔衣〕「白／文如此／文／白」  
〔畳〕「六」  
〔硯〕「金白／クロ文金／クロ／クロ」



二八 柿本人麿像  
紙本墨画 一枚

(三八八—三)  
三八一×四五八

(右下墨書)「表」



二九 柿本人麿像  
紙本墨画 一枚

(三八八—四)  
三八九×四〇二



三〇 柿本人麿像  
紙本墨画一部朱彩 一枚 三〇六×四三〇

(右上墨書)「是ハ我等唯今御つくり書懸御目申候さいしき候てほんニ書候ヘハ御次なる物ニテハ無之候一段よくなり申候」



三一 柿本人麿像  
紙本墨画 一枚 二八九×四一五

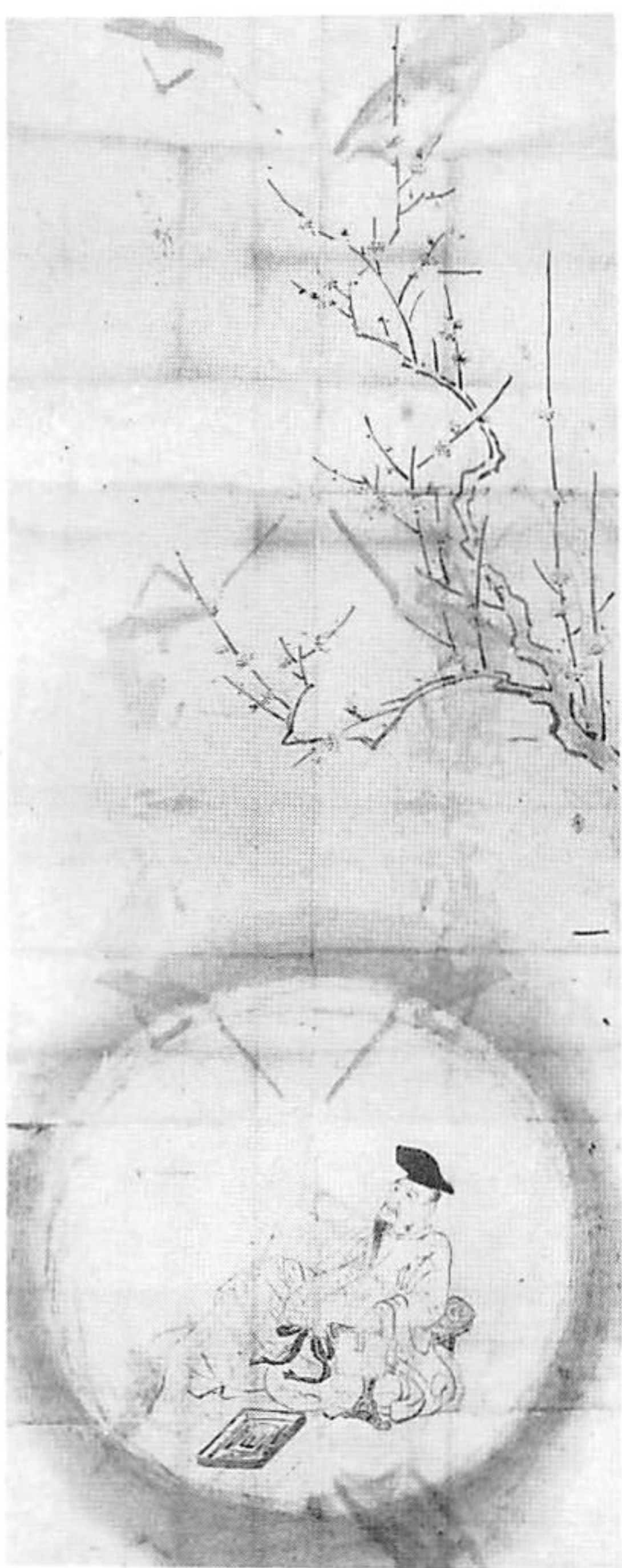
(右下墨書)「貞享五年／辰卯月／中旬／傳兵衛へ遣」





三二 柿本人麿像  
紙本墨画 一枚

(三八八一)  
二八九×四六五



三三 柿本人麿像  
紙本墨画 一枚  
(三八八四)  
一一四〇×四五〇



三四 柿本人麿像  
紙本墨画 一枚  
(三八八四二)  
七六九×六五四  
(左下墨書)「人麿／梅之<sup>(ヌミケシ)</sup>□哥是にハ／有なり」



三五 柿本人麿像  
紙本墨画 一枚  
(三八八三五)  
四六八×四一四  
延宝二年(一六七四)貞享二年(一六八五)

(右上墨書)「延寶貳年十二月下旬／貞享貳年五月上旬／谷野主殿首殿へ書遣取次也／先々此凶本ニ来梅上ニ色紙形／左人丸後へヨセ上二寸斗明左ノ／わキモ少明テ色アサギと／次キトニメ遣／色紙大サ／堅六寸三フ／横四寸七フ／梅白ウス彩色木常ノ／心仕立コケ土佐様／是ハ装束無文」  
(左上墨書)「是ヲ渡唐ノ人丸ト／云由入唐有其時ノ哥／天とふやかりの使の／いつしかもならの／都ニことつて／やらん」  
(右下墨書)「和泉屋新右衛門尉殿へ」  
(左下墨書)「青木玄丈老／白井宗因殿御同道」  
〔画中色指示〕  
「わウト／モリ書テ／惣ハ本ノコトクノ彩色」  
「コン／白／アサキ／丁字カラクサ文／ヘリウスわふド／生エング／スミクマシド／白」  
「疊大紋」



三六 柿本人麿像 (三八八—一八)  
紙本墨画 一枚 五三三×四二二  
胡粉による修正あり

〔画中色指示〕  
〔脇息〕「文／クサ／ゴフン／ウス生エン」  
〔衣〕「白／白」



三七 柿本人麿像 (三八八—二七)  
紙本墨画 一枚 七一三×三四〇  
元禄五年(一六九二)

〔右下墨書〕「元禄五年申二月十九日桔梗や六  
右衛門殿より来ニセ物箱蓋ニ信實と有似て物  
主所持ノ由狩野家ノ筆と存候狩野衆御披覽  
可然と申」  
〔画中色指示〕  
〔紋〕ハ常ニテ



三八 柿本人麿像 (三八八—三二)  
紙本墨画 一枚 五四四×三三七  
享保三年(一七一八)  
〔左下朱文方印〕「画院／待詔」

〔左上墨書〕「三幅対右人丸」  
〔左中墨書〕「享保三三月中旬表具師正堅老取  
次」



三九 柿本人麿像 (三八八—二九)  
紙本墨画 一枚 五六〇×二八四  
享保五年(一七二〇)

〔左上墨書〕「享保五八月上旬中井主水殿へ」



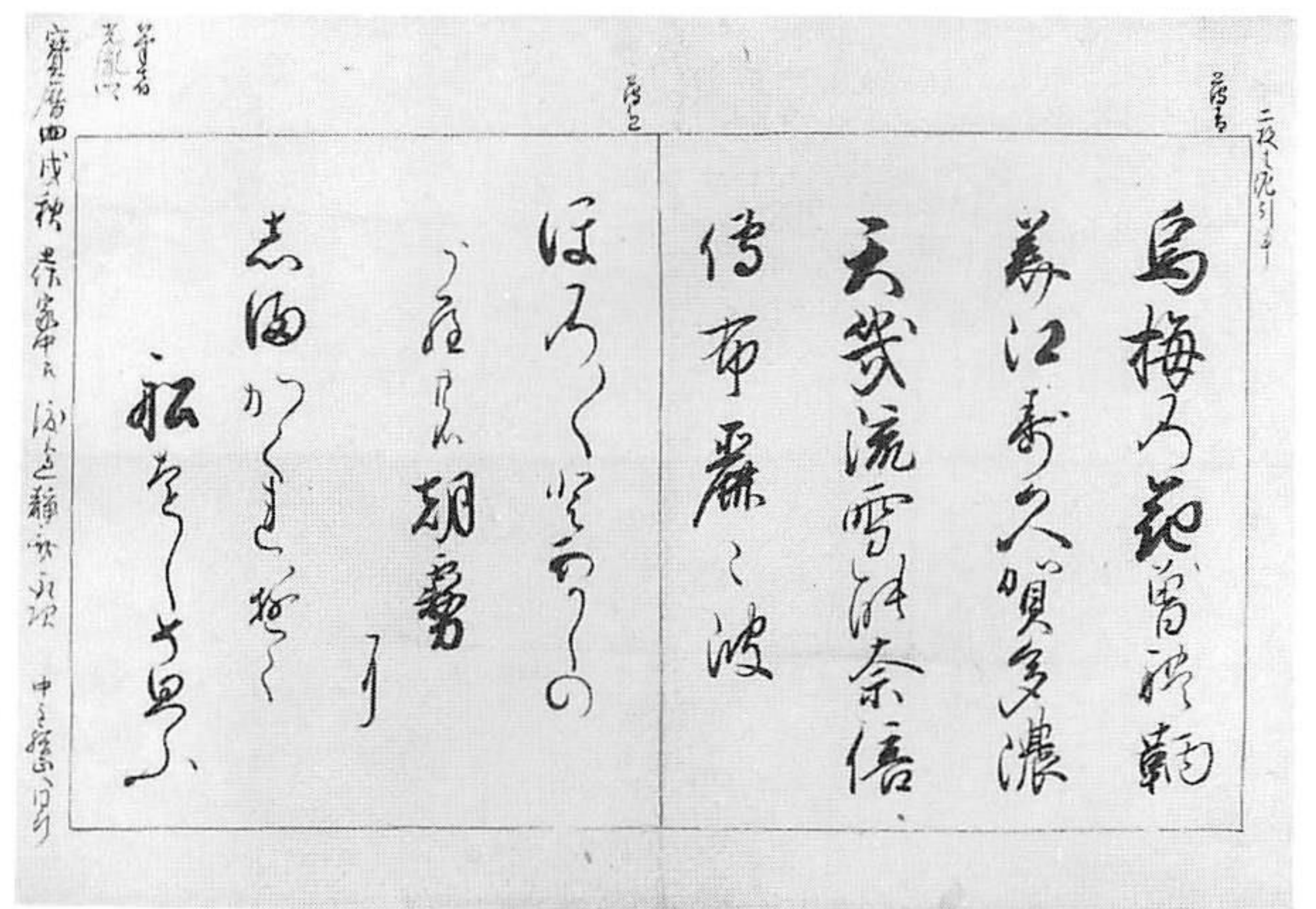
四一 和歌三神図 (三八八—一七)  
紙本墨画 一枚 三九六×六九五  
元禄四年(一六九一)  
(左下重郭六角墨印)「□」  
(左下朱文方印)「画所預之印」  
(左下墨書)「元禄四年未七月下旬井川善五郎へ」  
(上中墨書)「和歌ノ三神」  
(右上墨書)「此人丸ヲ書也」  
(下中墨書)「此ノ衣通姫書也」  
「赤人ノ衣通姫ノ人丸ト書也」  
「掛ル人ノ勝手次第ニ好也」  
「か様人丸西ノ方ヘ成様ニ好也」  
「掛ル勝手ニヨリ人丸衣通姫赤人トモ書也」  
「南側ニ掛テ北向ノ時ハ人丸衣通姫赤人ト書テ西ニ人丸有様ニ書也」  
「赤人衣通姫人」  
「又是非共ニ赤人ヲ書遣ニ好モ有」  
〔画中色指示〕  
(衣通姫)「几丁紋有ノ衣裳紋有」  
(赤人)「紋有ノ無紋」



四〇 柿本人麿像 (三八八—二四)  
紙本墨画 一枚 七六八×四〇五  
(右下墨書)「人丸」  
〔画中色指示〕  
(衣)「アカシノアカシノアカシノアカシ」  
〔裏〕  
(右墨書)「佐有」



四三 山辺赤人像 (三八八—四)  
紙本墨画 一枚 二七〇×三九八  
寛文八年(一六六八)  
胡粉による修正あり  
(右墨書)「寛文八申六月中旬昌程老へ人丸ト二幅対」  
(右上墨書)「赤人ノ春の野にすみれノつみにとこし我そノ野ヲナツカシミノヒトヨネニケリ」  
(右下墨書)「すみれ少ツムノ書也」



四二 柿本人麿色紙形 (三八八—四四)  
紙本墨画 一枚 二八二×四〇四  
寶曆四年(一七五四)  
(左墨書)「寶曆四戌秋土佐家中之渡邊静斉取次中主膳正ノ同断」  
(色紙形)「烏梅乃花曾禮鞞ノ美江寿久賀多濃ノ天幾流雪能奈倍ノ傳布廉々波」  
「ほのく〜の〜」  
「〜胡霧」  
「志由〜」  
「私〜」  
(右墨書)「二枚共泥引斗」  
(右墨書)「薄青ノ薄色」  
(左上墨書)「筆者ノ光胤卿」



四四 住吉明神像

紙本墨画 一枚

(三八八—二二) 八二八×二八〇

かきのひさしき世よりいはいそめてき讃  
伏見宮中務卿邦永親王御筆

享保二年(一七一七)

〔画中色指示〕  
〔頭巾〕「白キラ引／文コフン」

(右上墨書)「享保二年丁酉三月下旬壺井安左衛門殿取次」

(衣)「キ／文雲白／白／カケクサクマ／コン  
／白六／花泥／唐草／アサキ／文キン／クサ  
クマエ文付」  
(沓)「キン／クロ／朱」



四五 柿本人麿像袋

紙本墨書 一枚

(三八八—四五) 三二七×四〇七

明治九年(一八七六)

一〇四の袋。裏に土佐光武借用証文あり。紙  
ひも付属

(左墨書表書)「古画／人丸像」

〔裏〕

(下墨書)「明治九年／六月／山口徳兵衛  
貸金請取之通／土佐光武殿」

(上墨書)「借用申金子之事／一金八拾五圓也  
／右之金子今般拙者無據要用ニ付／正ニ借用  
申候処実正也返済之義一時ニ皆済可仕管ニ御  
座候処段々頼談之上／本月ヨリ毎月廿五日期  
限金七拾／五錢宛皆済迄無遅滞屹度返済可仕  
候／右約定之上者万一沓ケ月ニ而も及遅／滞  
候得者元金ニ月沓分五厘之利／足差加え一時  
御取立被成下候共其／節一言之申分毛頭無御  
座候為／後日借用申金子証書仍テ如件  
明治九丙子年 五月九日 土佐光武 山口徳  
兵衛殿 一錢印紙印鑑

(右墨書)「七八九十一十二／丑一二三四五  
六／七八九十一十二／六圓七十五錢受取  
請取書有之候共及求可候事」



四六 衣通姫像

紙本墨画 一枚

(二九五—一五) 四四三×七七八

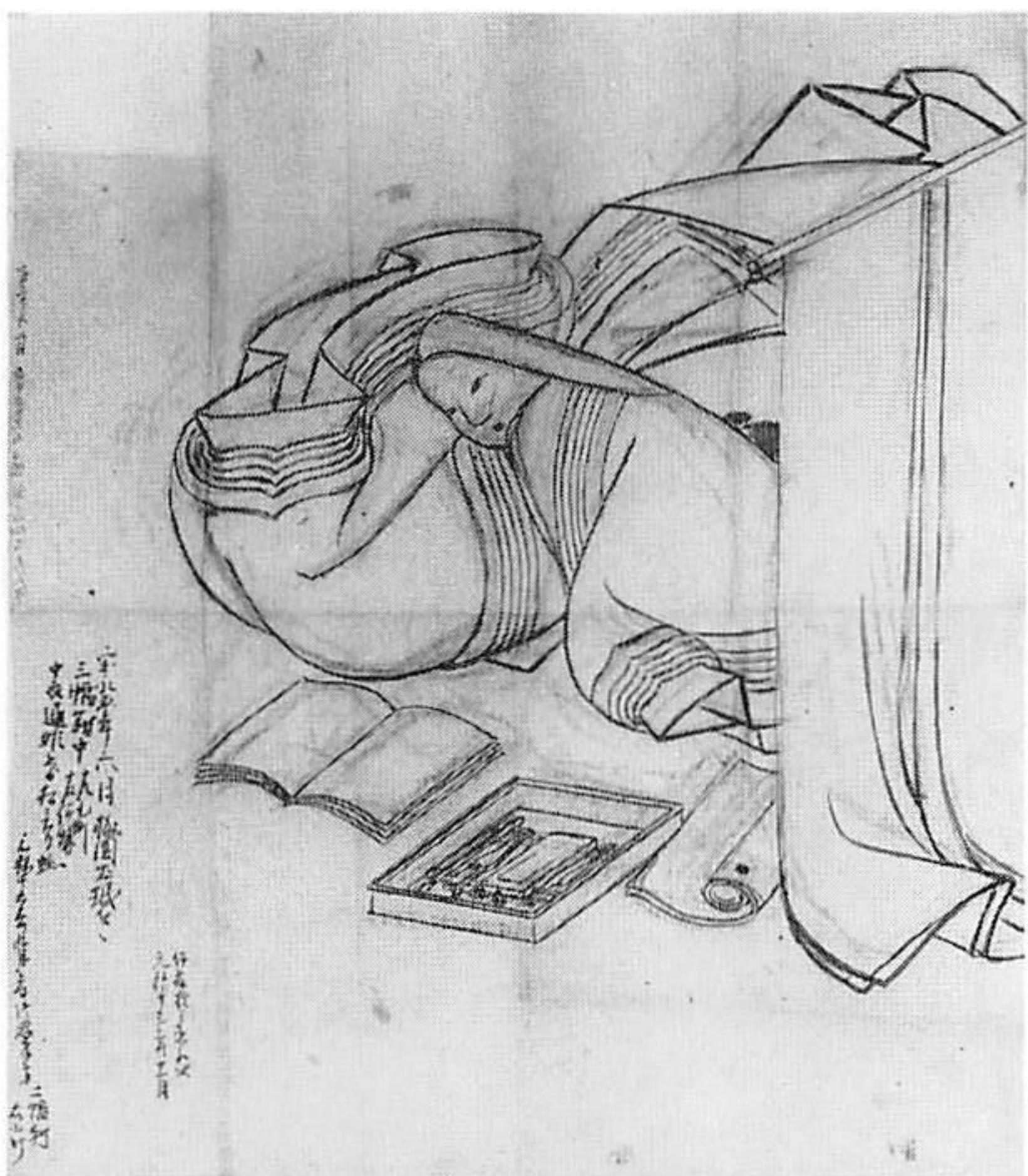
寛文五年(一六六五)

〔裏左下重郭六角墨印〕

(左上墨書)「衣通姫／松平山城殿家中 寛  
文五十二ノ下旬杉本道継老松平大和殿家  
中」

〔画中色指示〕  
(右下)「名印」ミス「マルハシラ」凡帳「か  
きけして」

〔裏〕  
(左下)「柴」



四七 衣通姫像

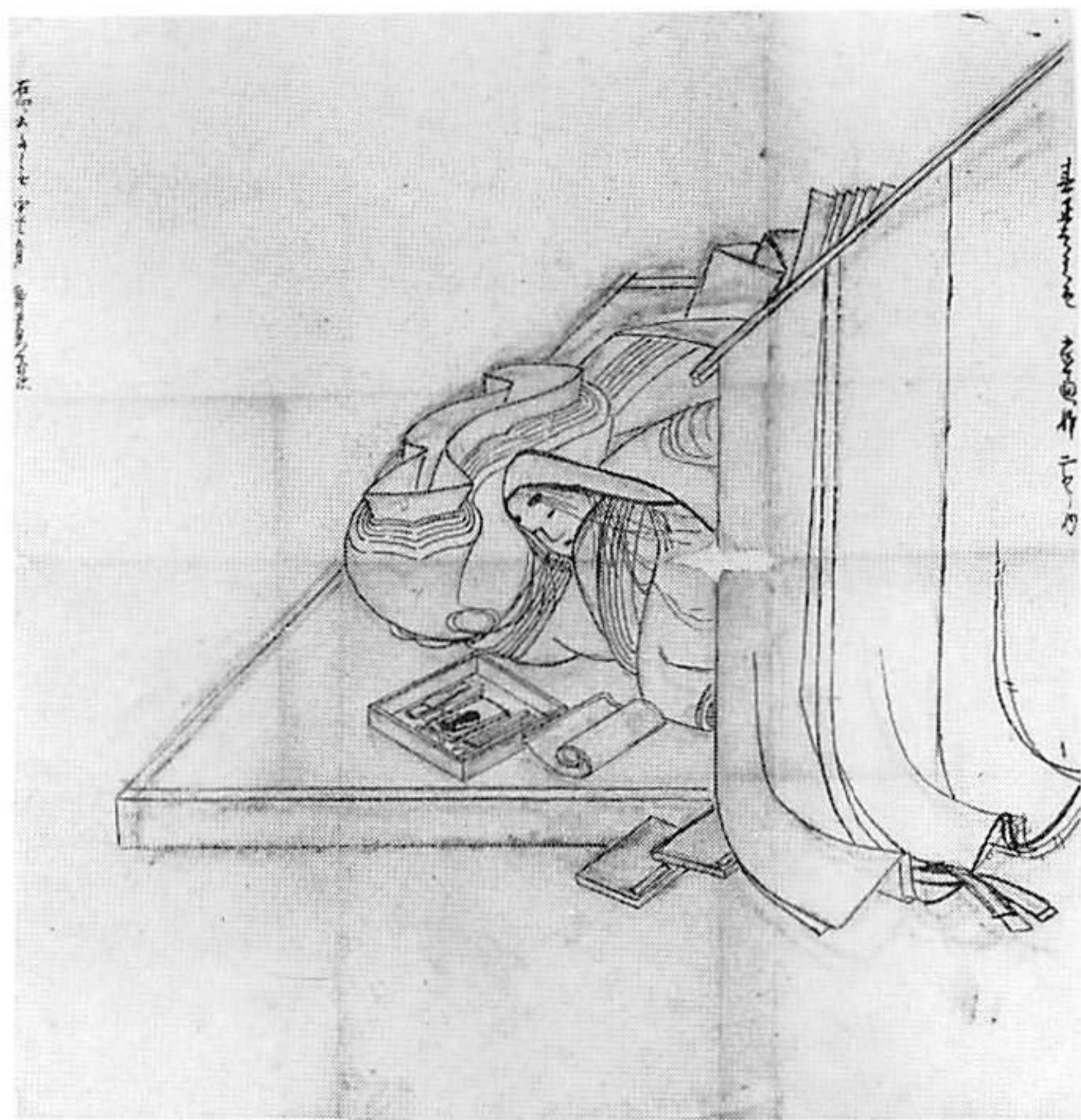
紙本墨画 一枚

(二九五—二) 四一八×三六九

元禄十三年(一七〇〇)元禄十六年(一七〇三)  
宝永二年(一七〇五)宝永五年(一七〇八)

(左下墨書)「伊藤権之亟取次／元禄十三年十  
一月」元禄十六年九月上旬片岡半兵衛  
「宝永五年六月梅園正珉老へ／三幅对中  
左小町／中衣通姫上松ニ下り蜘蛛」  
右伊勢

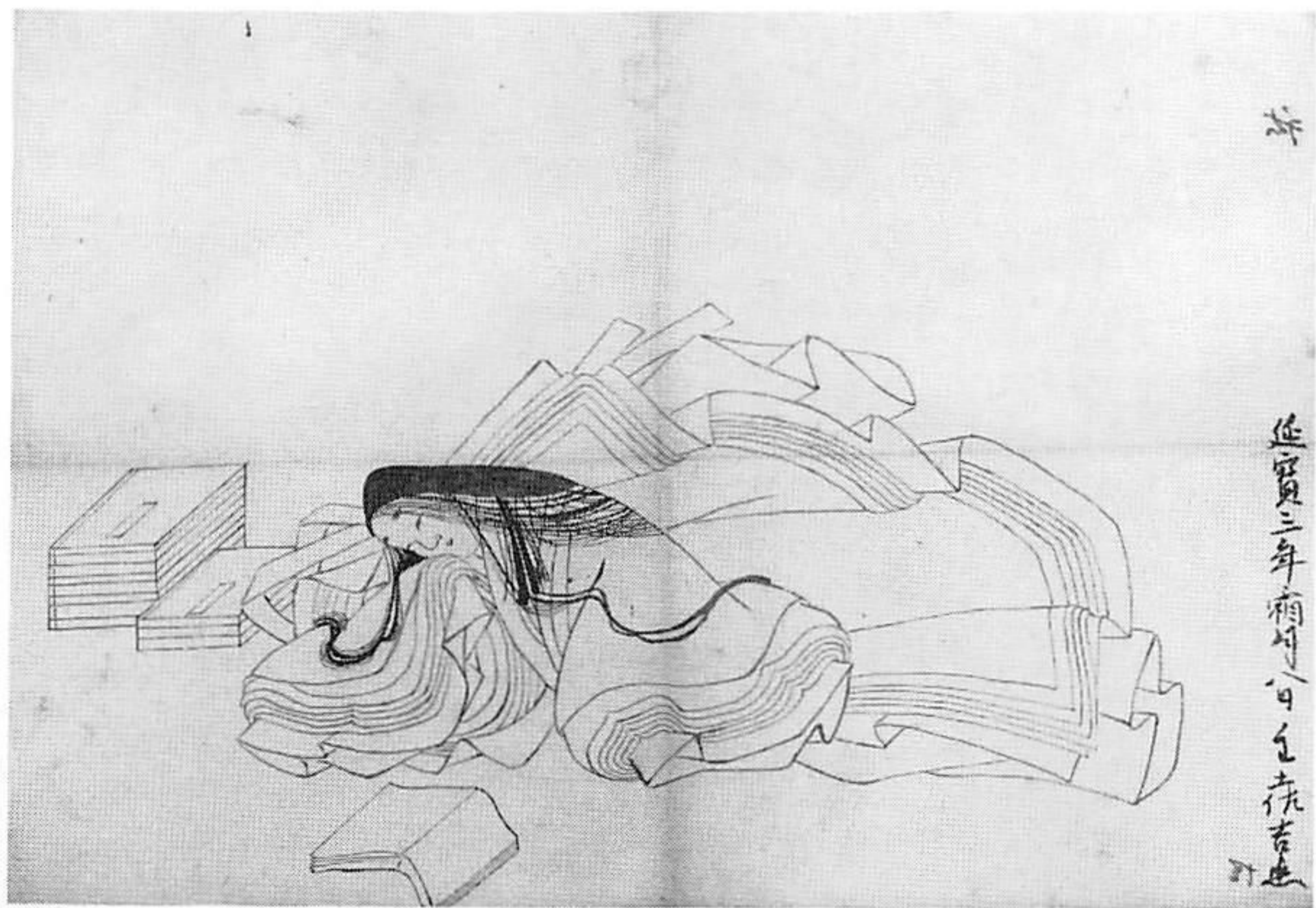
〔裏〕  
(右上墨書)「寶永二年九月壺井安左衛門殿二  
幅対右向書左人丸」



四八 衣通姫像 (一九五—五)  
紙本墨画 一枚 四〇〇×三八〇  
宝永三年(一七〇六)  
(右墨書)「春正二郎兵衛殿 衣通姫二ふくノ内」  
(左上墨書)「右向ニ書たゞミ無宝永三九月壺井安左衛門殿取次」



四九 衣通姫像 (一九五—二)  
紙本墨画 一枚 四三四×二九〇  
宝暦二年(一七五二)  
土佐光芳  
(左上墨書)「宝暦二十一年月中旬ノ和歌三神ノ中ノ竹越山城守殿奥方ノ浅井周迪之取次」  
(左中墨書)「上ニ色紙形二枚寸法色目等右之通ノ惣絹之寸法三幅共堅三尺四寸ノ三幅共色」



五〇 衣通姫像 (一九五—六)  
紙本墨画 一枚 二六七×三九七  
延宝三年(一六七五)  
土佐吉丞  
(右下墨書)「延寶三年霜月八月主土佐吉丞」  
〔裏〕  
(左墨書)「祐」



五一 衣通姫像 (一九五—一三)  
紙本墨画一部淡彩 一枚 八八〇×三〇五  
延宝三年(一六七五)元禄二年(一六八九)  
(右上墨書)「衣通姫也」  
(右下墨書)「此好之通白井宗因殿取次青木ノ玄丈老ヘノ書遣ノ延宝三年ノ春ノ紋わか松ノ枝繪具ニテ書ノヒトヘ六カサネムラサキノ上ノ絹アサキカノ桜中カスミノ桜ノ枝よりクモ」  
〔画中色指示〕  
〔松〕「此葉二三枚ハノ是よりもノかすませて書可申候」松ヲ桜ニ書也  
(左下画)「松薄彩色也」カレバケハタノクモ  
ラサケテ「絹」ハノ老尺二寸ノ長四尺  
(左下墨書)「岡西惟中ト被云哥学者儒学者也ノ大坂惟(スミケン) 惟貞ノ元禄二年壬正月月中旬ノ安川了仙取次絹地光成書ノ連哥師ノ由」

(几帳)「白浅黄スソコノ紋錦花鳥彩色」  
(衣)「唐衣萌木浮紋クワノ丸ノ地紋亀甲内唐花」カウ色ノ紋金「紅」ムラノコン」  
(敷物)「白ノ金エンノグノ紋ワチガイ」

〔画中色指示〕  
(松)「此葉二三枚ハノ是よりもノかすませて書可申候」松ヲ桜ニ書也  
(左下画)「松薄彩色也」カレバケハタノクモ

〔表〕



五二 衣通姫・玉津島明神像(一九五—一六)  
紙本墨画 一枚 一一八六×五二〇  
元禄四年(一六九一)  
表側に貼紙、胡粉による修正あり

〔裏〕



(左下貼紙下墨書)「元禄四年/未二月中旬/  
大坂へ遣/宗為取次」  
(右上墨書)「衣通姫」  
〔画中色指示〕  
(人物右)「衣通姫」  
(蜘蛛)「如此」  
(笹)「ウススミ」  
(衣)「白/金/白/六/エンチカサ子/ウル  
ミ/文様ゴフソニテホソク書/六朱キヨイミ  
ハ六唐草金」

〔裏〕

(右中墨書)「衣通姫」  
(右下墨書)「此唐物画ハ未書候也衣通姫如此  
唐官女ニモ書也/上古装束不知時代也」  
(上)「上」  
(下)「□」



五三 衣通姫像 (一九五—一一)  
紙本墨画 一枚 五四七×三三六  
享保三年(一七一八)  
(右上墨書)「三幅対中衣通姫」  
(左墨書)「享保三三月中旬表具師正堅老取次」

〔表〕

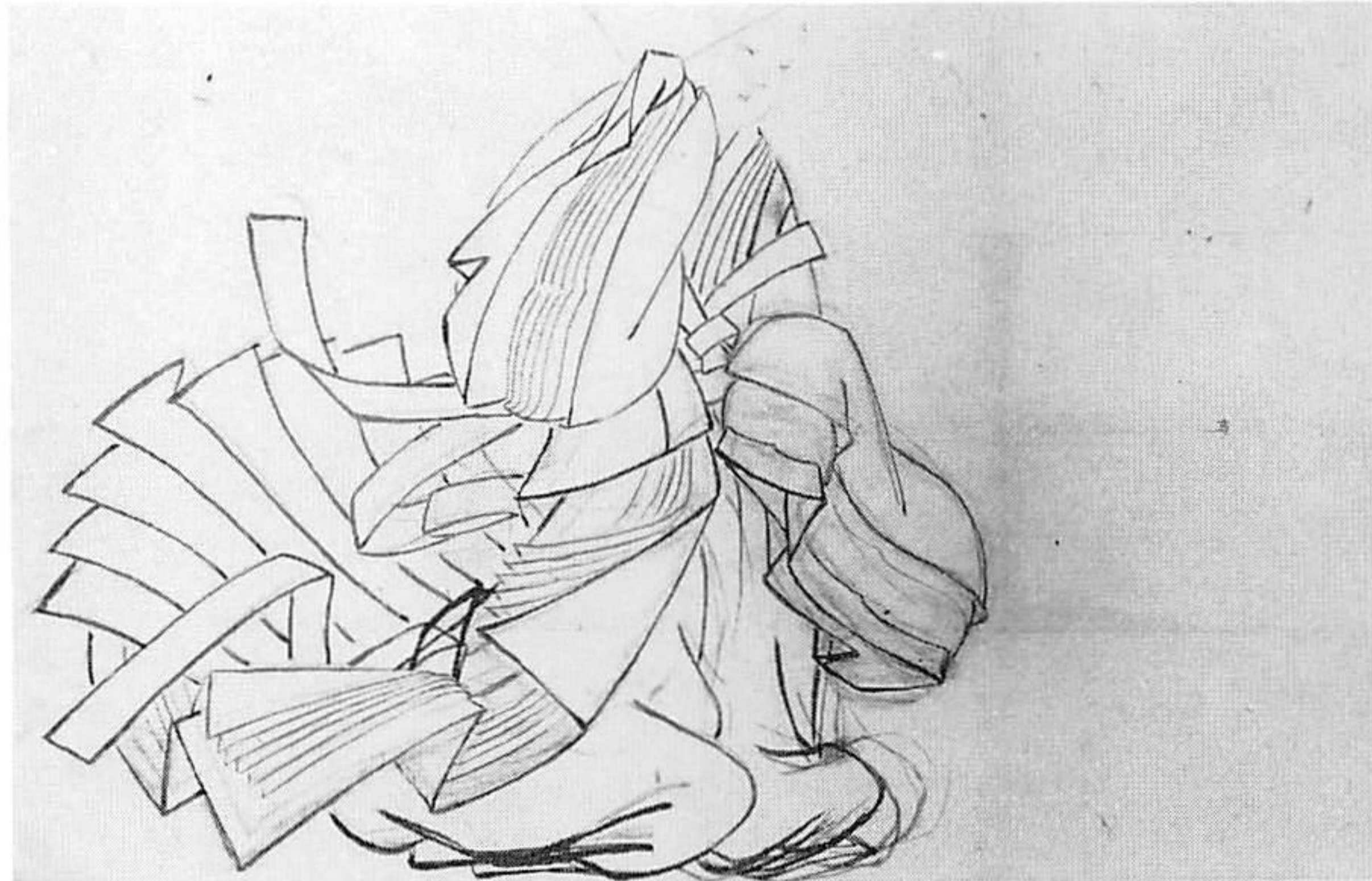


五四 衣通姫像 (一九五—三)  
紙本墨画 一枚 三七九×四〇七

(右上墨書)「衣通姫/大坂岡西惟中老取次/  
たけミム入テ寸法三尺五寸/は(スミケン) 壹尺  
五寸」

〔画中色指示〕

(竹)「此スミ是下ニテ/葉仕込/葉クサ墨  
書メ」クモ」  
(衣)「生エンク/文タテわキ金ギン/アサキ  
ムラアイクマ」コフソニキタン入/エンメ/朱  
重/カラクサ/金「クチハ/文/□松/キン  
/ギン/朱スミ」六文つる」  
(裳)「クわア□□/モミジ」松クサ朱スミ/  
水アイ/セイガイ/水銀ニテ/書」  
(右下)「重朱クサエン 金ニテ半ニわり文  
クル」



五五 衣通姫像 (一九五—七)  
紙本墨画 一枚 二九二×四五九



五六 玉津島明神像  
紙本墨画 一枚  
寛文八年(一六六八)

(右下墨書)「玉津嶋／寛文八月中旬」  
〔画中色指示〕  
〔海〕「海」蘆／是より少書ヘシ」



五七 玉津島明神像  
紙本墨画 一枚  
延宝六年(一六七八)元禄二年(一六八九)元禄三年(一六九〇)

土佐光成  
胡粉による修正あり

(右上墨書)「玉津嶋明神」  
(左下墨書)「阿野大納言様 江／延宝六年六月日／光成筆／左 住吉明神將監筆」元禄二年十二月四日／大和門甚右衛門殿へ常昭御書還」此日夕取ツキ四 (スミケン) 三日迄 出来」元

禄三年／午卯月／下旬／有家取次」

(左上墨書)「一彩色惣観音ノ仕立ニわど朱ズミクマゴフンクマムラ／朱ズミニテクマノ文如此ノ花トカラクサ金 六コン朱重／一ヘリコン菊シド重スソノヘリコン文金カラクサ／袖ノヒレ生エング回クマゴフン入金ニテ間ニ 如此チムミ／一 天衣六ウラ同ウスク文雲コン重金ノケウラフチゴフン」笏白／下ギキ／一 前ノヲビ朱／一 平緒白六フチ金丹ナド／ノアシライ」

〔笏〕「白」  
(天衣)「六／カサネ無／ウス／白くん」  
(上衣)「ウスキノグ／ウスキグ」  
(袖)「生エンクスリノブシ／生エン書ヲコシ／同クマ／コフンチ入」此有ハ打懸ノ心也／袖ハ色カワル」ハナコフンタン／六生エンク／アサキグ／シドク」キク朱重／エンジコク少コフン入／エング朱ノ心也」  
(裾)「白／ミルチャ／六／コン／白／コン／フチ皆金／白／六」  
(沓)「丹ノケン形朱／ニツ白／フチ金／白クマ」



五八 玉津島明神像  
紙本墨画 一枚  
元禄三年(一六九〇)

(左下墨書)「元禄三年 午卯月／下旬／しゅんセウ次郎兵衛取次」



五九 玉津島明神像  
紙本墨画 一枚  
五八〇×四二〇

(一九五—八)



六〇 玉津島明神像  
紙本墨画 一枚  
元禄十二年(一六九九)  
土佐光高

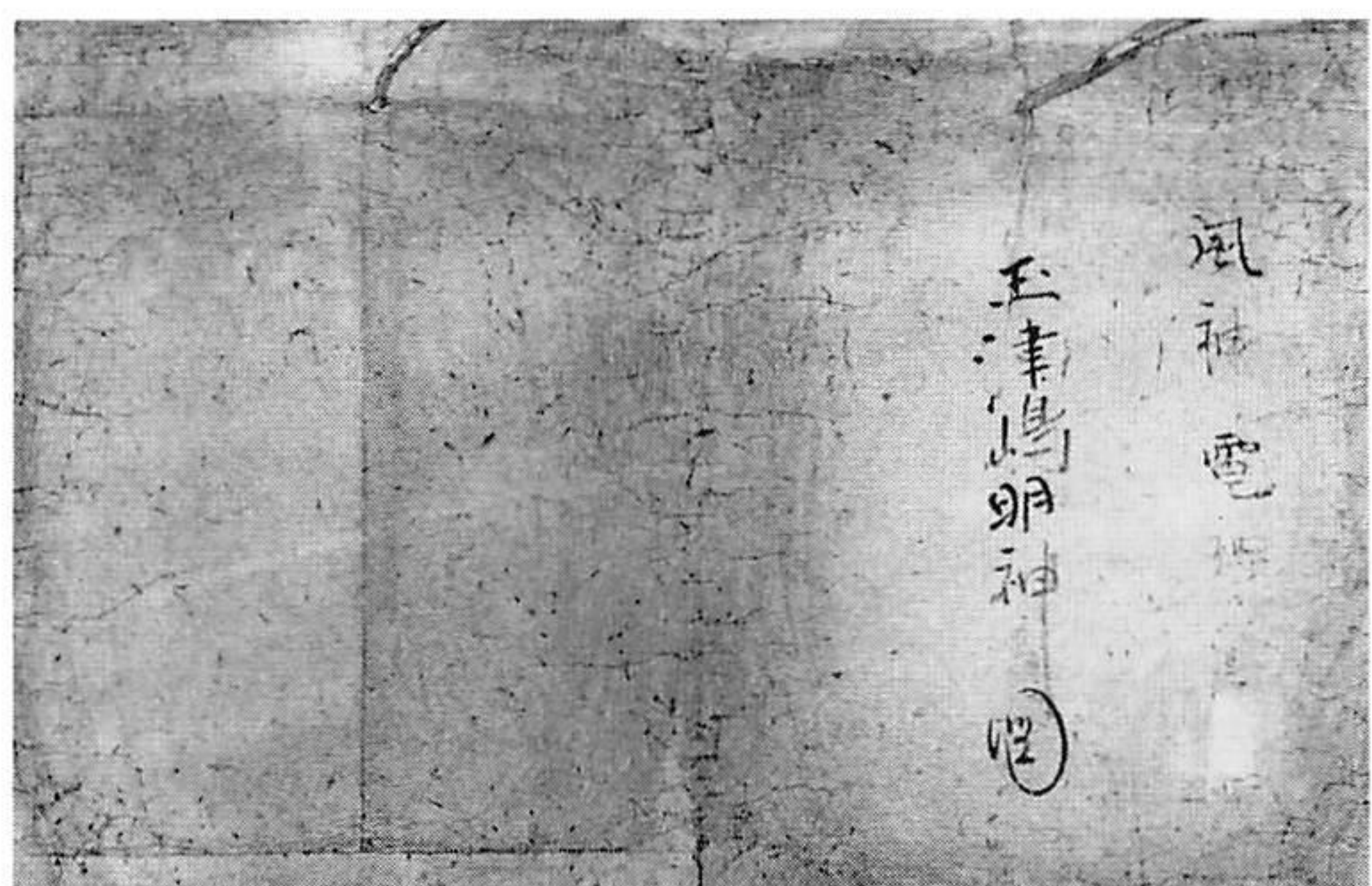
(一九五—一四)  
八一〇×二六六

「このことの葉の千世まもりませ」  
〔画中色指示〕  
〔冠〕金/金六  
〔衣〕白/シト/六/白/六/白  
〔袖〕朱/金/白/白/スミ/キン/白/キ  
ン/モヘキ  
〔裾〕カウハイ/白/六ク/白/コン上ガク  
マ/下ガゴフンクマ/チュミコフンアカ吉  
墨  
〔沓〕タン/キン/金書之

(右中墨書)「元禄十二年乙酉(ヤツレ)七月十三日写  
光高 古筆了珉ヨリ来二百年/此方ノ時代」  
花押(足利義尚)花押(足利義昭)「手前ニ書文  
ノ御判」  
(賛)「ちはやふる/玉津嶋ひめ/あとよめて



六一 玉津島明神像  
紙本墨画 一枚  
五七三×二四四  
(一九五—一九)  
(右下墨書)「安田伊左衛門殿へ書遣/和哥三  
神ノ左」  
〔裏〕  
(右下墨書)「玉津嶋」



六二 玉津島明神像袋  
紙本墨書 一枚  
二八二×四六〇  
四六〇六一の袋。紙ひも付属

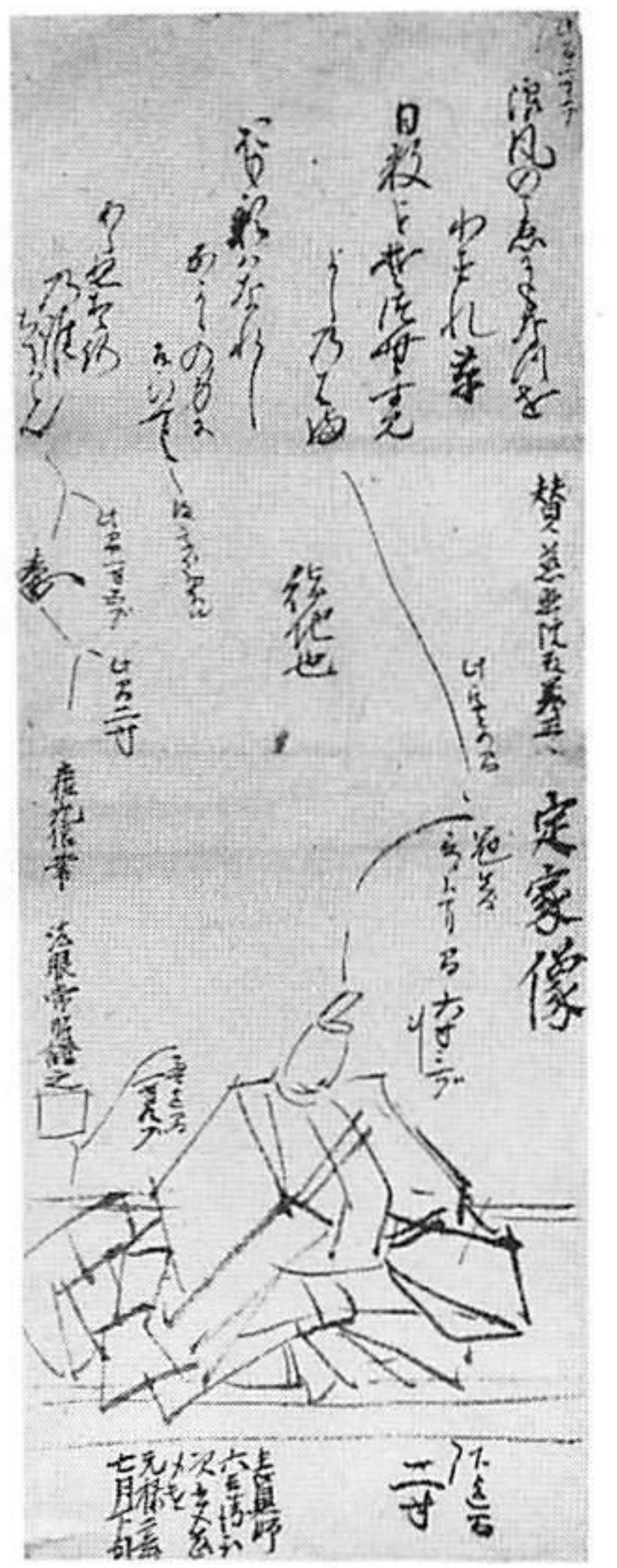
(右墨書表書)「玉津嶋明神図」風神電神の図(ウスレ)



六三 和歌三神名号三十六歌仙図 (三九三)  
紙本墨画 一枚 七八〇×三七一  
平/素性/猿丸/兼輔/敦忠/公忠/斎宮女  
御/敏行/宗子/清正/興風/光則/小大君  
能宣/兼盛

(中央墨書)「鹿嶋大明神/住吉大明神/玉津  
嶋明神」  
(右側歌仙絵付墨書)「人丸/躬恒/家持/業  
基/重之/信明/順/元輔/元真/仲文/忠  
見/中務」  
(左側歌仙絵付墨書)「貫之/伊勢/赤人/僧  
正/遍照/友則/小町/敦忠/高光/忠岑/頼



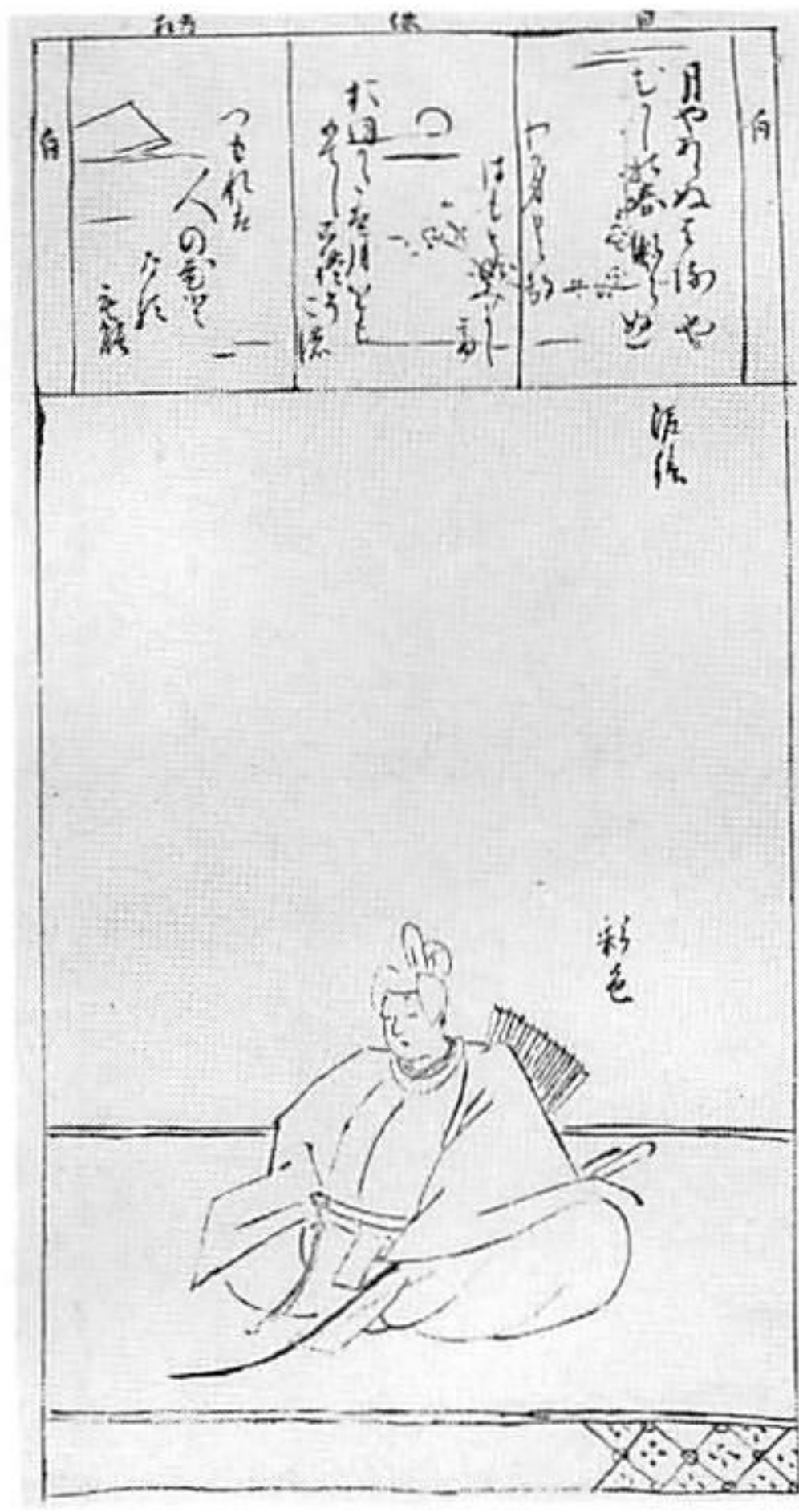


六四 藤原定家像 (二六四—四八)  
紙本墨画 一枚 四二八×一六〇  
元禄二年(一六八九)

誰ちきるらん「花押(足利義政)」「土佐光信筆  
法眼常昭證之「印形」

(右中墨書)「賛慈照院殿義正」「定家像」  
(左下墨書)「表具師六兵衛取/次書入如此/」  
ノ遣/元禄二年/七月下旬」  
(賛)「浪風のこゑにもなつを/わすれ草/日  
数をそつむすみ/よしのはま/おも影ハなれ  
しなからの身に/そひて/あらぬこゝろ/の

〔画中色指示〕  
(賛右上)「此間二寸ニブ」  
(賛中下)「此字との間/冠先を/哥ノトマリ  
間六寸三ブ/斗」  
(紙中央)「絹地也」  
(賛左下)「此間一寸五ブ」「此間二寸」  
(左印形横)「畳辻間一寸九ブ」  
(畳下)「下辻間/二寸」



六五 在原業平像 (一九八—二)  
紙本墨画 一枚 四二二×二二五

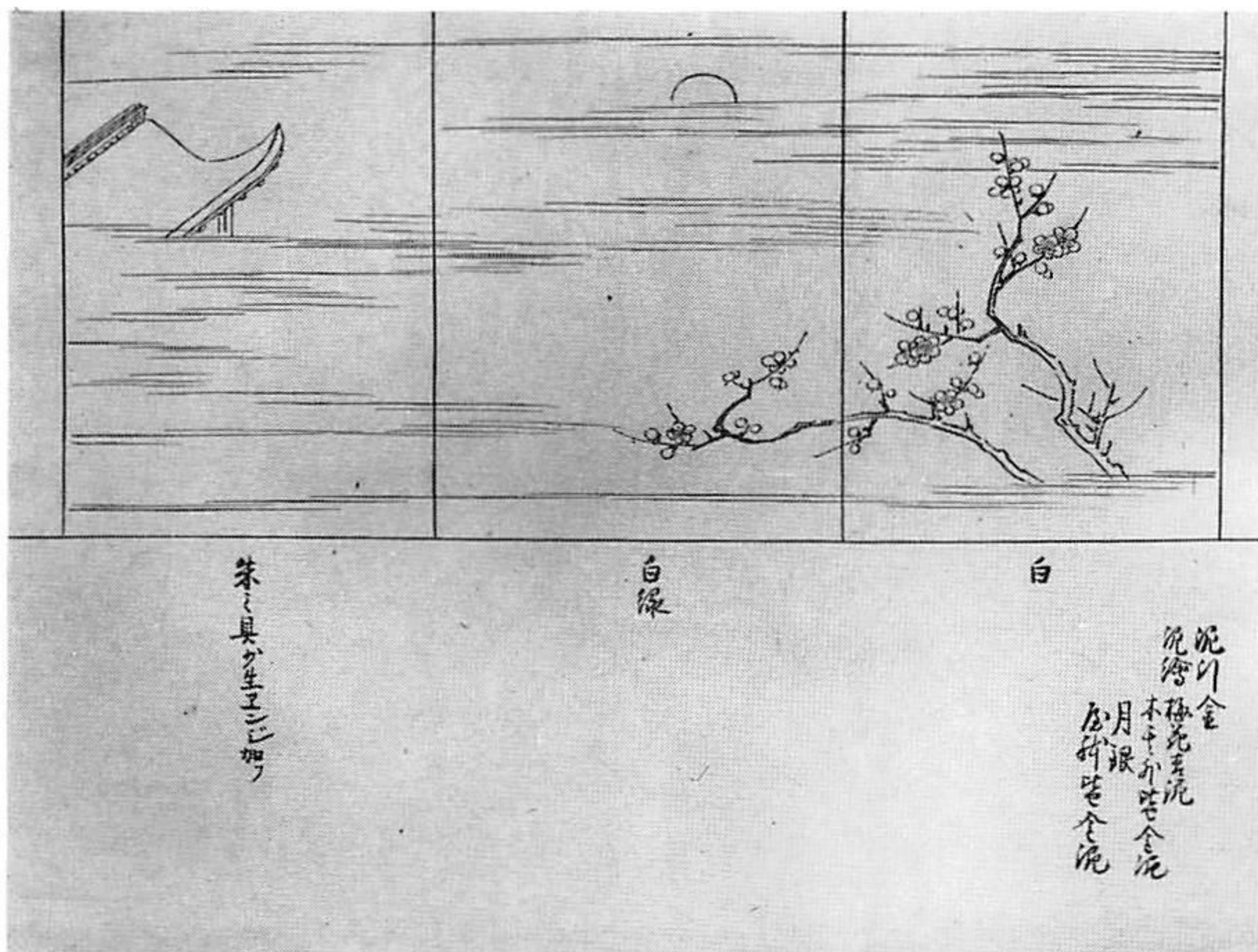
(上墨書)「月やあらぬはなや/むかしの春な  
らぬ/わか身ひとつ/はもとのみにし/て/  
おほかたは月おも/めてしこれぞ/この/つ  
もわな/人の老と/なる/もの」「泥絵」  
(下墨書)「彩色」

〔画中色指示〕  
(色紙形)「白」「白」「緑」「薄紅」「白」



六六 在原業平像 (一九八—二)  
紙本墨画 一枚 三〇〇×四三二

(右墨書)「此下絵之通調進登高麗縁」  
〔画中色指示〕  
(矢)「矢廿五本」  
(刀)「ミルクイ」  
(袴)「朱」  
(束)「惣金」  
(弓)「弓黒むらなしと/つるごふんニ而付し  
どニ而くまだん」



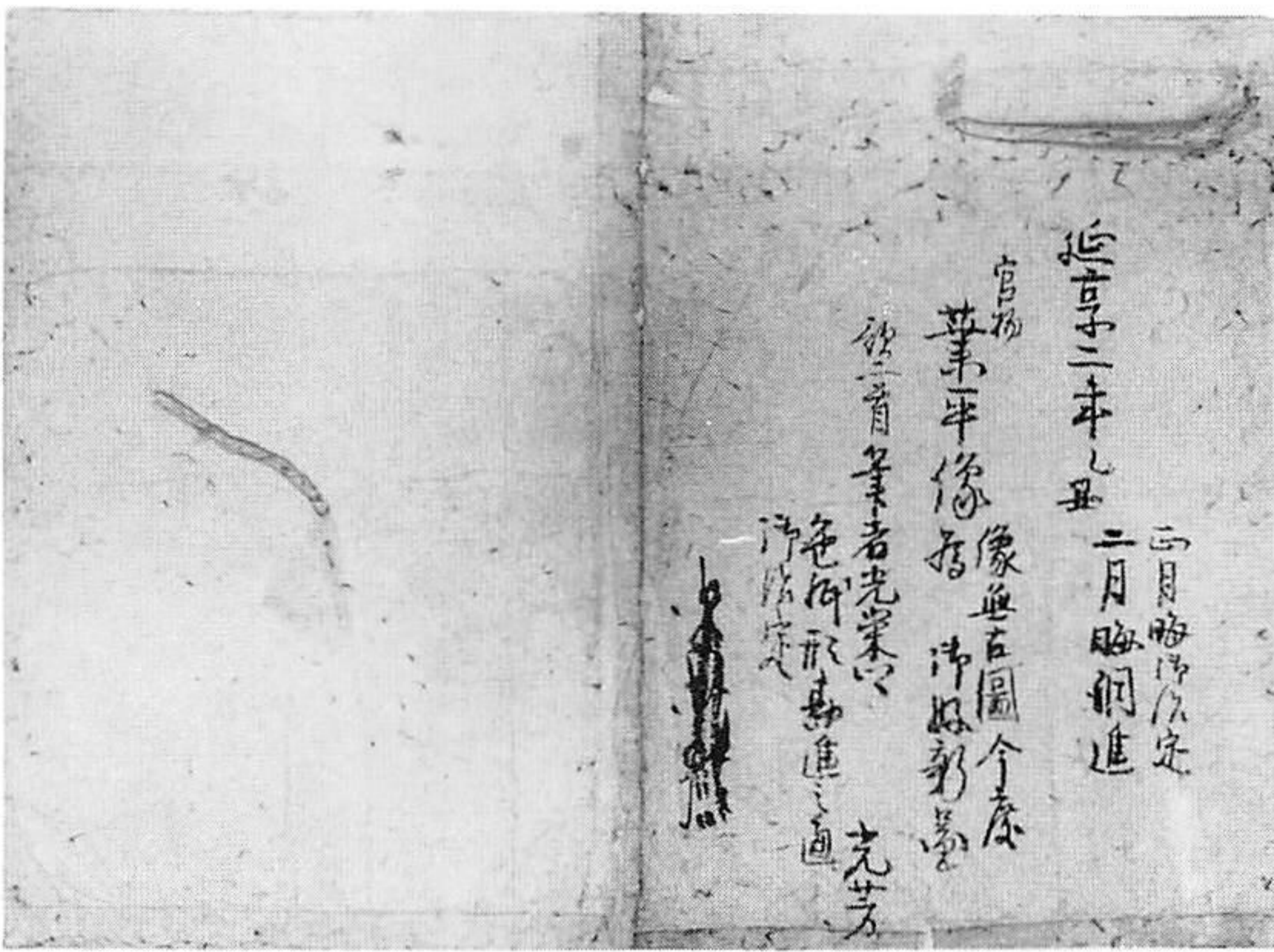
六七 在原業平像色紙形 (一九八—三)  
紙本墨画 一枚 三〇〇×四〇二

(右墨書)「泥引金/泥繪梅花青泥/木其外皆  
金泥/月銀/屋簷皆金泥」「白」  
(中墨書)「白緑」  
(左墨書)「朱之具少生エンジ加フ」



六八 在原業平像  
紙本墨画 一枚  
九一七×四〇〇  
(一九八一四)

(右上墨書)「絹大サ此通調進」



六九 在原業平像袋  
紙本墨書 一枚  
二六〇×三六五  
延享二年(一七四五)  
土佐光芳  
六五〇六八の袋。紙ひも付属  
(右墨書表書)「延享二年乙丑正月晦御治定  
二月晦調進官物業平像像無古圖今度  
為御好新圖歌二首筆者光榮卿光芳  
色紙形勘進之通御治定」



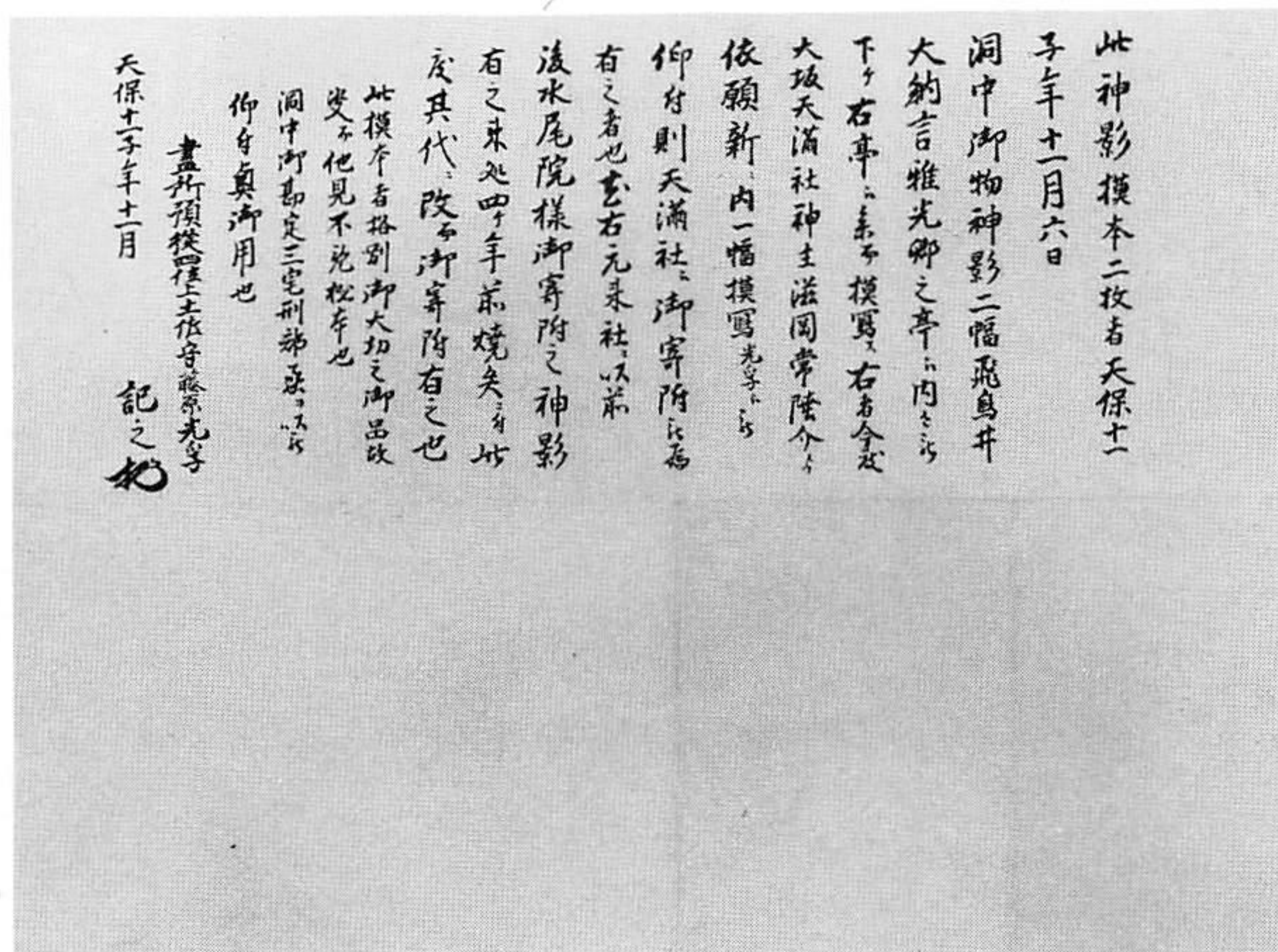
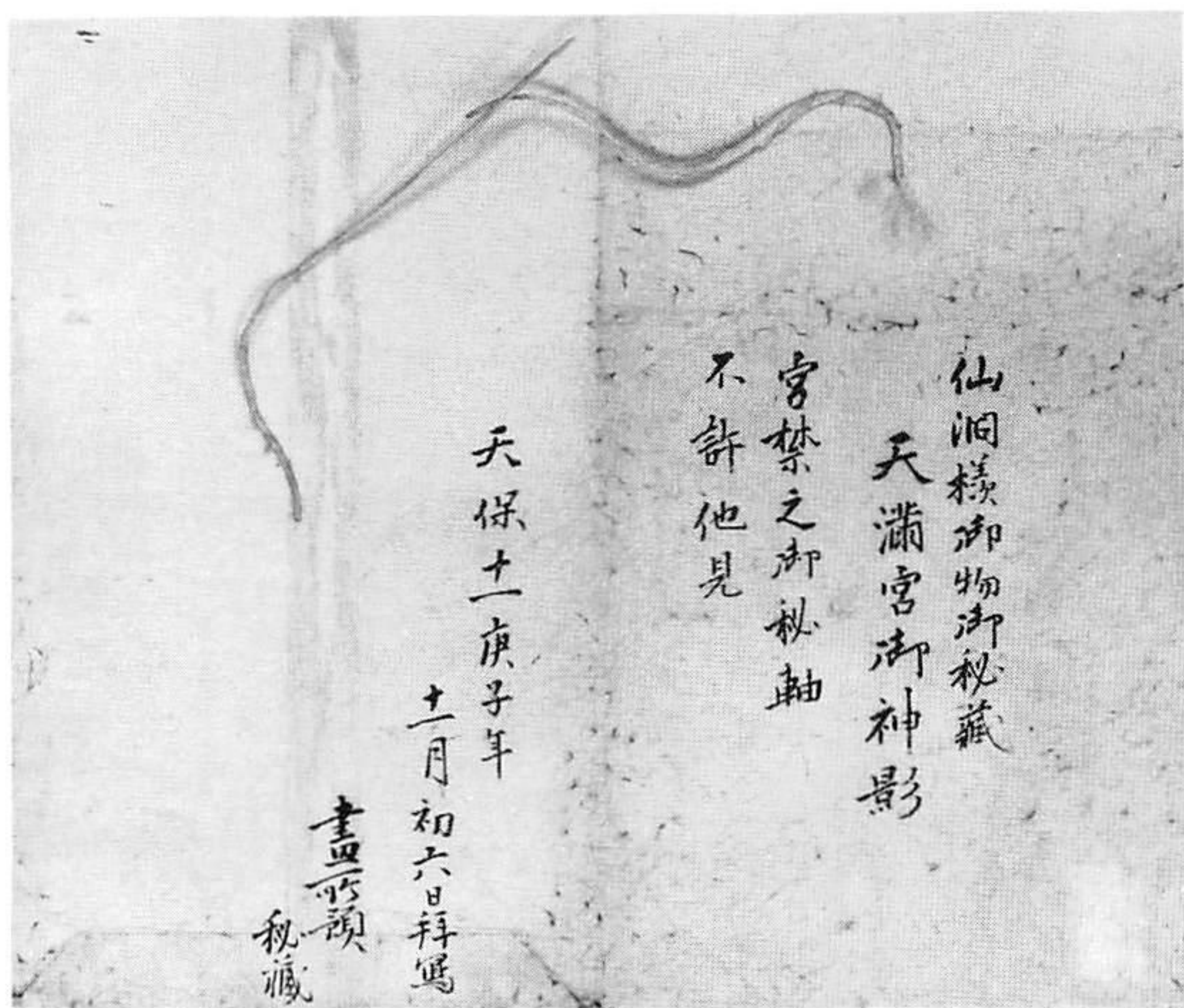
七〇 天神像  
紙本墨画淡彩 一枚  
一一六〇×五四八  
(一七〇一一)

〔画中色指示〕  
(装束)「コキスミ」黄土具/眼中ゴフン曲/  
ゴフンカキ入「黄土」コフン曲「白紋良」地  
白/文良「朱エン」  
(畳)「六」クロ/文白「クロ」文白「クロ」  
文白「黄土」朱ズミ



七一 天神像  
紙本墨画淡彩 一枚  
九二二×五五二  
(一七〇一一)

〔画中色指示〕  
(軒・長押)「シト」金/シトク「タ」コン/  
地金/地金/カキワリ/白「シト」エモン/  
イツレ/も「金」六金クムリ/コン/箔」  
(御簾)「竹六」地エンク/コン/シト点/六  
/金ククリ」  
(幕)「地朱」丹ニテ/スシ/スシ金/白/白  
/白/エン/クロ/エモン金/コン/金/朱  
目金」  
(襪網縁)「金」朱/朱/金/六/六/良/エ  
ン/エン/良/金/朱/クロ/文良/朱/金  
/六/クロ/文金/六/良/エン/エン/良  
/六/六「エン」六/六/金/朱/朱/六  
六」  
(床)「ワウト」エモン/何レモ金「黄土」木  
目金」



七二 天神像添状 (一七〇—三)  
 紙本墨書 一枚 三二二×四四七  
 天保十一年(一八四〇)  
 土佐光孚  
 七〇・七一の添状

(墨書)「此神影摸本二枚者天保十一／子年十一月六日／洞中御物神影二幅飛鳥井／大納言雅光卿之亭江内々被下ケ右亭江参而模寫ス右者今度大坂天満社神主滋岡常陸介頼新ニ内一幅摸寫光孚江被仰付則天満社江御寄附被為有之者也尤右元来社ニ以前後水尾院様御寄附之神影有之来処四ヶ年前焼失ニ付此度其代ニ改而御寄附有之也此摸本者格別御大切之御品故決而他見不免秘本也洞中御勘定三宅刑部丞ヲ以被仰付奥御用也畫所預從四位上土佐守藤原光孚天保十一子年十一月記之花押」

七三 天神像袋 (一七〇—四)  
 紙本墨書 一枚 三九五×三五二  
 天保十一年(一八四〇)  
 七〇・七二の袋。紙ひも付属

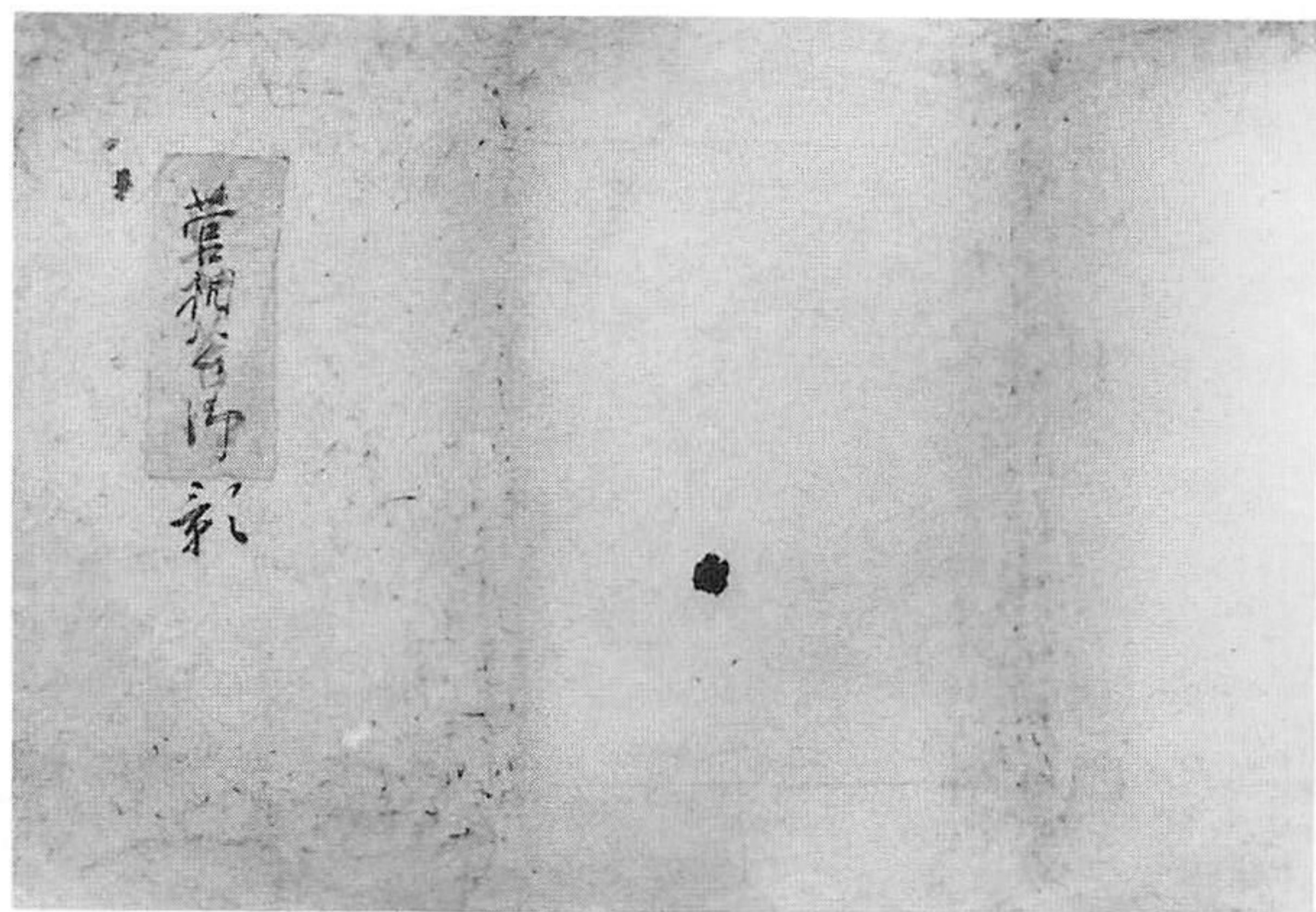
(右墨書表書)「仙洞様御物御秘藏天満宮御神影宮禁之御秘軸不許他見」  
 (左墨書袋裏)「天保十一年庚子年十一月初六日拜寫畫所預秘藏」



七四 菅原道真像 一枚 五四〇×四〇七



七五 菅原道真像 一枚 五四〇×四〇八  
 紙本墨画淡彩  
 左右手首に貼紙あり



七六 菅原道真像包紙 (一六七—三)  
紙本墨書 一枚 二七三×四〇七  
七四・七五の包紙。墨書上貼紙あり

(左墨書表書)「菅相公御(以上貼紙)影」  
(貼紙下墨書)「是□卿」



七七 天智天皇像 (三八六—二)  
紙本墨画 一枚 六七六×四一〇  
(右下朱文方印)「画所/預之/印」



七八 舍人親王像 (三八六—三)  
紙本墨画 一枚 一一八八×四四六  
宝暦五年(一七五五)  
土佐光芳

(左上墨書)「宝暦五六月日藤井遠江殿取次白  
川殿家像之写也光芳筆」

〔画中色指示〕

(幕)「アイロウ」コンジャウ/白「六/アサ  
ギノグ/鳥ウンゲン/白地」

(冠)「キン/キン/キン/コン/白/キ/朱  
六/コン/エンジ/六/キ/朱/白/コン

/朱/六/キ/六/コン/白/エンジ/朱/  
(椅子)「六/エンジ重/丹/墨」

(床)「キワウトウ/イタマ也ウス墨/ヌル」

モ金/キン/キン/キン「白」墨」

黄/コン/キ/朱/モエギ/キン/此玉何レ

ノグ/白/白/コン/キノグ/六/白/朱/  
キ/金/六/六/キ/六/六「白/キン」

(装束)「白/黒/金/キン/白/六/地赤朱  
六/コン/グマ/白/黒/六ウンゲン/朱墨  
/白/白「コン/キ/朱/モエキ/コン/地  
黄/コン/キ/朱/モエギ/キン/此玉何レ  
モ金/キン/キン/キン「白」墨」



七九 舎人親王像 (三八六—七)  
紙本墨画一部淡彩 一枚 一一八八×四一五  
宝暦五年(一七五五)  
土佐光芳

(右上墨書)「舎人親王尊影」

(右下墨書)「白河殿家藏圖/畫所預正五位下  
藤原光芳監寫」

(左下墨書)「寶暦五亥夏藤野井遠江へ」

〔画中色指示〕

(幕)「草ノシル/コン/白/アカ/草ノシル  
/アカ/何モコン」

(冠)「金/金/エン/キン/エン/金/金/  
エンシ/エンシ/金/エンシ/金/此二方之  
間十七スジ/金/エンシ」

(装束)「丹/朱/金/コン/金/ツクリワド  
/草ノシル/朱/コン/白/朱/地黄/コン  
/ツクリワド/草ノシル/コン/朱/白/白  
/黒/黒」

(椅子)「エンシ/丹/六」

〔画中色指示〕

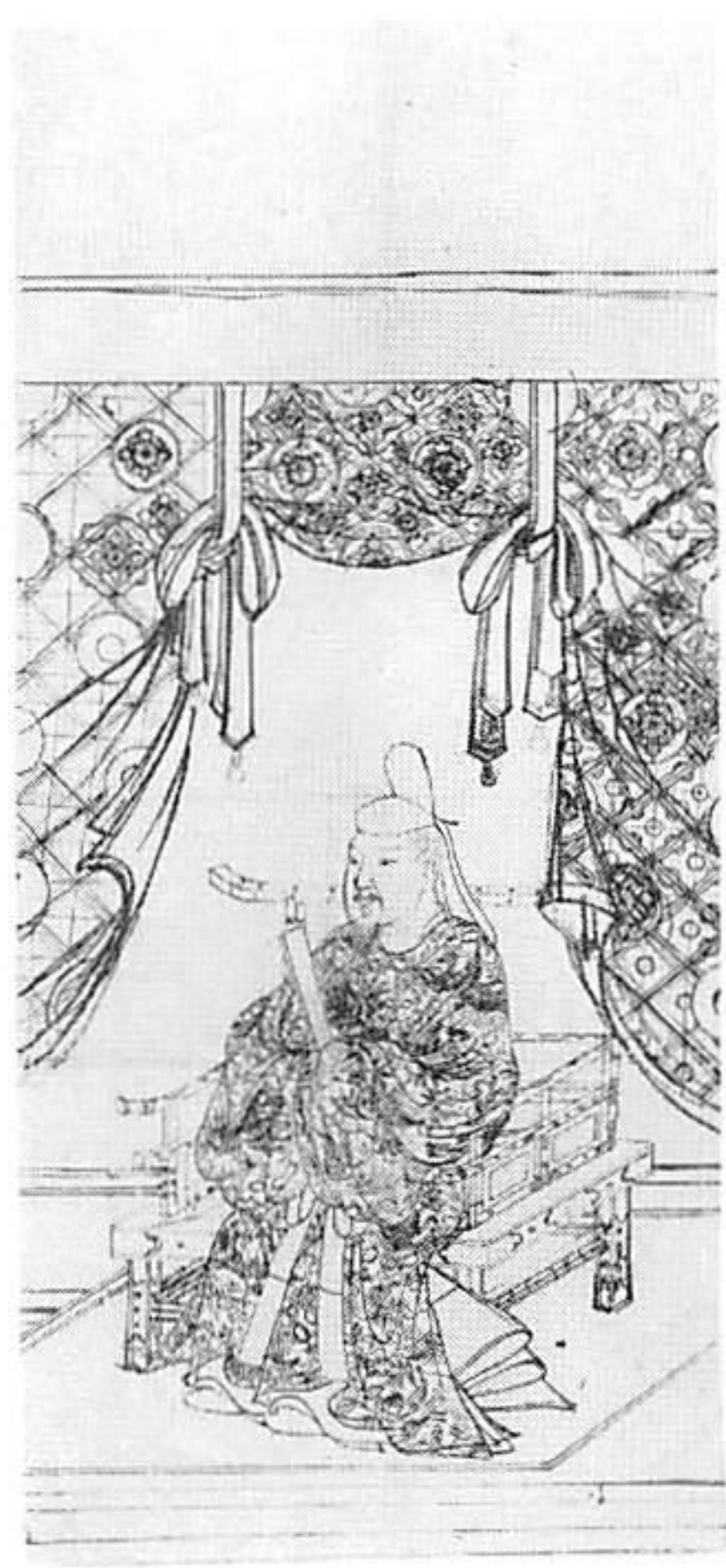


八〇 桓武天皇像  
 紙本墨画 一枚  
 明治二六年(一八九三)  
 土佐光輝

(右下墨書)「明治廿六年拾月十三日土佐光輝  
 寫之」

(三八六一八)

一三五〇×六七九



八一 桓武天皇像  
 紙本墨画 一枚

(三八六一四)  
 七三六×三五二



八二 桓武天皇像  
 紙本墨画淡彩 一枚  
 土佐光武  
 貼紙あり

(三八六一六)

七九六×五六〇

(右下墨書)「光武寫之」

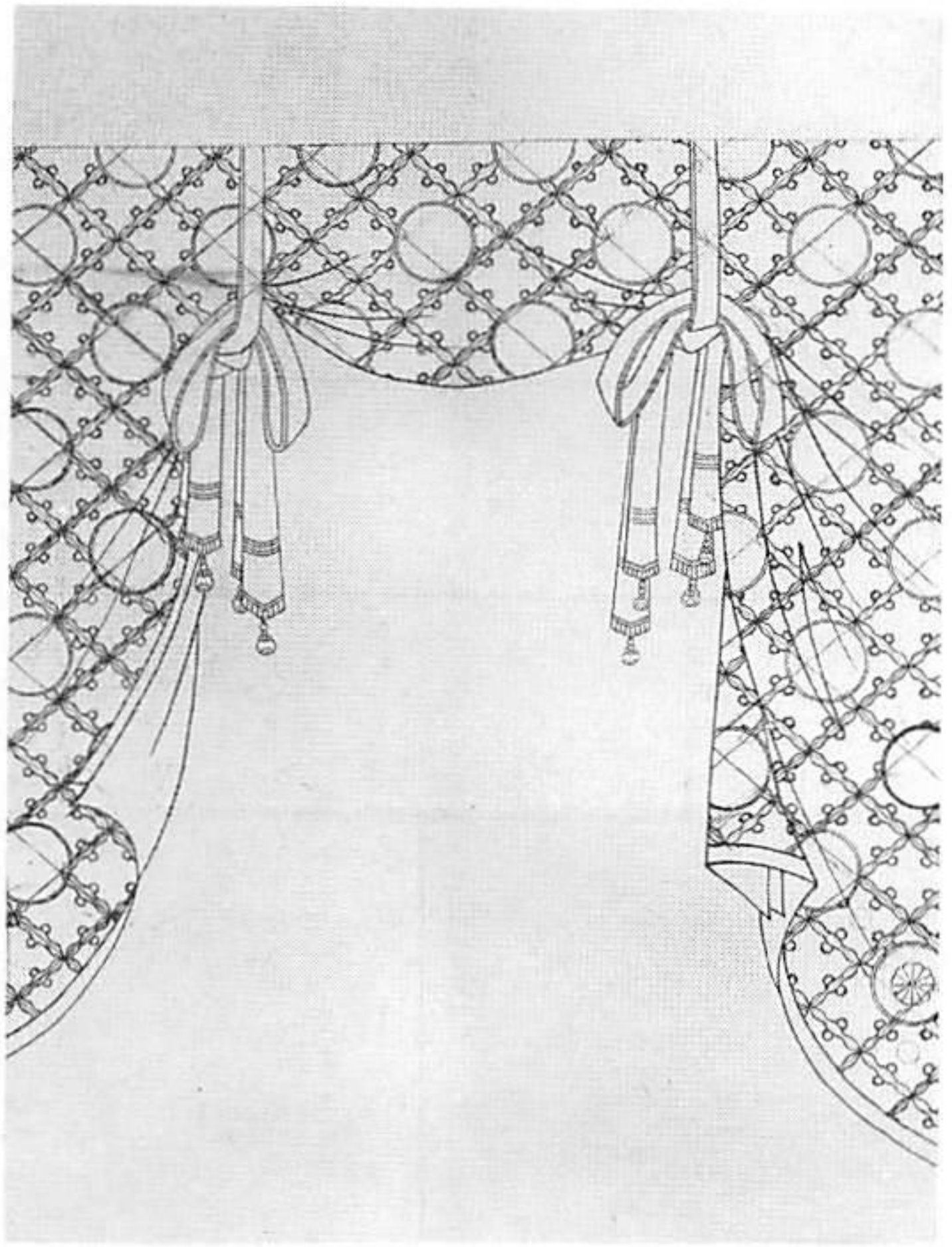
(右上貼紙墨書)「巨勢弘高筆／絹地貳尺巾  
 二而／裏箔」

〔画中色指示〕

(幕)「朱／白／六／コン」クムリ六／クン／  
 地朱土ズシク／ギン地／金カキ／ワリ／キ  
 ン」朱／コン／ロク」キン／ギン／金」  
 (装束)「金裏箔」白キ／ヲトク」キン／キン  
 /コン」白／銀」白／白／朱／朱／白」文ギ  
 ン／白／シト／スミ／スミ」  
 (椅子)「クロ／クロ／クロ」朱／キ／クロ／  
 キ／朱／六／六／ムラ／キ／キ／ムラ」  
 (褥)「地裏箔／ウスキ／シトグ／ヌル」  
 (畳)「六」六」六」朱／キ／クロ／キ／六  
 /六／コキ／六／ムラ／キ／クロ／キ／コキ  
 /六／クロ／キ／朱／六／コキ／朱／キ／キ  
 /朱／六／コイムラ」キ／コキ／六／コキ／六  
 /朱／キ／キ／朱／六／コキ」六」ムラ／六  
 /朱／キ／コキ／キ／朱」六」

〔裏〕

(右上墨書)「桓武天皇尊影」



八三 桓武天皇像幕図  
 紙本墨画一部藍描 一枚  
 八三七×六二七  
 八〇の幕部のみ。貼紙あり。

(三八六一二)

八三七×六二七



八四 北畠親房像 (三八六一五)  
紙本淡彩 一枚 八三三×四二四  
大正二年(一九一三)  
土佐光武  
(右上墨書)「北畠親房公肖像」  
(右下墨書)「大正貳年五月／紀州日高郡／藤田村／牧野玉誠氏々依頼」



八六 嵯峨天皇 (二六八一二)  
紙本墨画淡彩 一枚 一三六〇×六九八  
文政八年(一八二五)  
(右上箴字)「第一嵯峨天皇」  
(画中色指示)  
(装束)「地祿青／文金」地白／白  
(畳)「畳六」六／キ／クロ／朱／キ／ク  
口／朱／六／キ／クロ／キ  
(褥)「白／白」  
(色紙形)「白郡／朱」

〔裏〕  
(右下墨書)「土佐光武謹寫」印  
(左下墨書)「土佐光武謹拜寫／大正貳年七月  
貳拾九日出來／先方へ相送り候事」

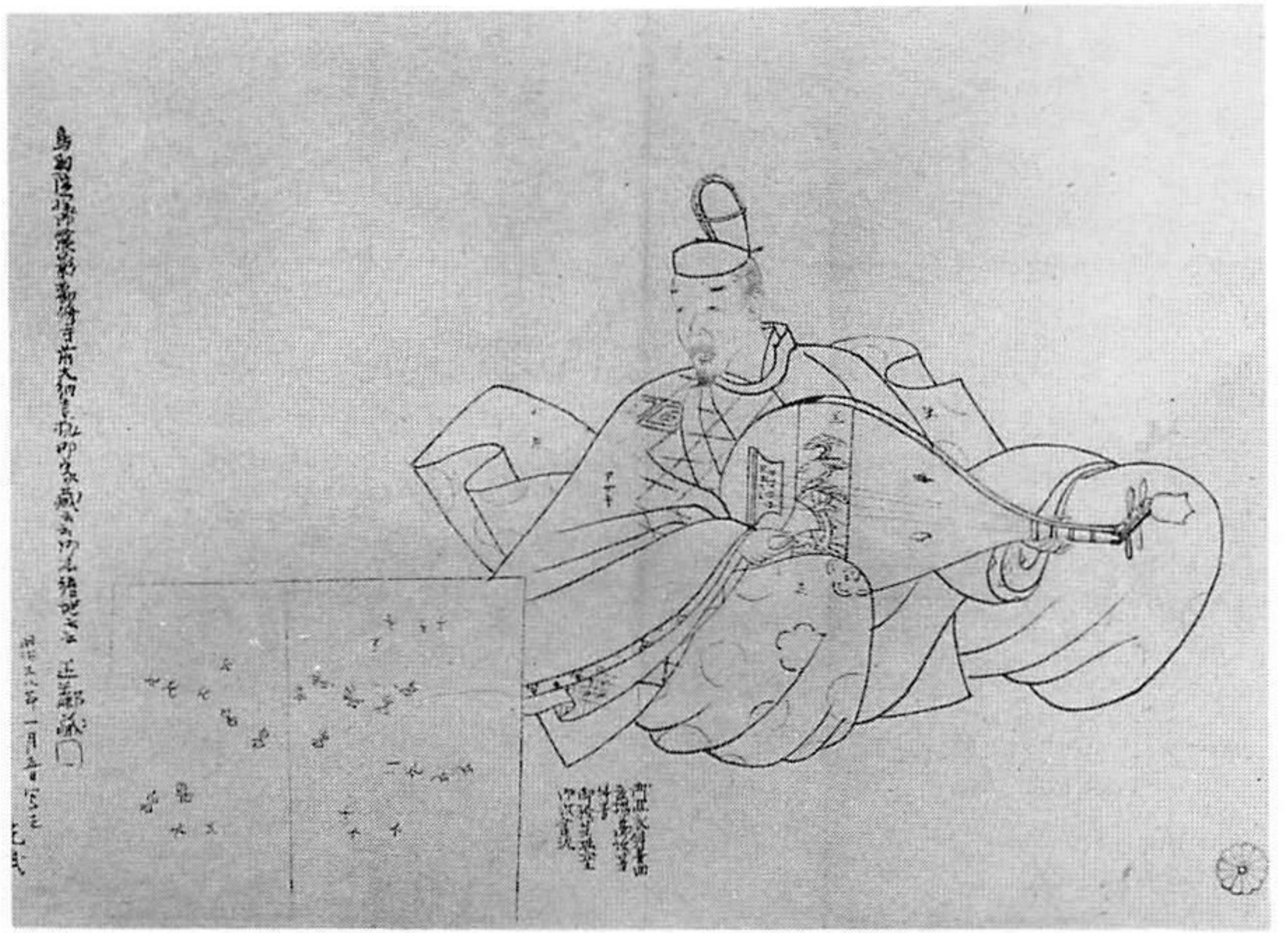
〔裏〕  
(左上貼紙墨書)「宸影 參議小野篁卿筆／尊號 東宮帶刀桶逸成書／文政八年乙酉十月下旬以小野篁真筆／宸影奉摸寫之／叡嶽執行探題兼戒壇院別當／前大僧正豪實識」



八五 桓武天皇像他袋 (三八六一九)  
紙本墨書 一枚 二七五×三九六  
七七〇八四の包紙  
(中央墨書表書)「八郎次郎殿面會之上／五月十四日／三幅共／相認候様御依頼／之由／舍人親王尊影<sup>三</sup>／此内二枚三井殿へ／改御貸渡置候事／桓武天皇尊影ニ／天智天皇蹴鞠遊之図／北畠親房公肖像／土佐」



八七 嵯峨天皇像 (二六八一二)  
紙本墨画 一枚 一〇八〇×六〇三



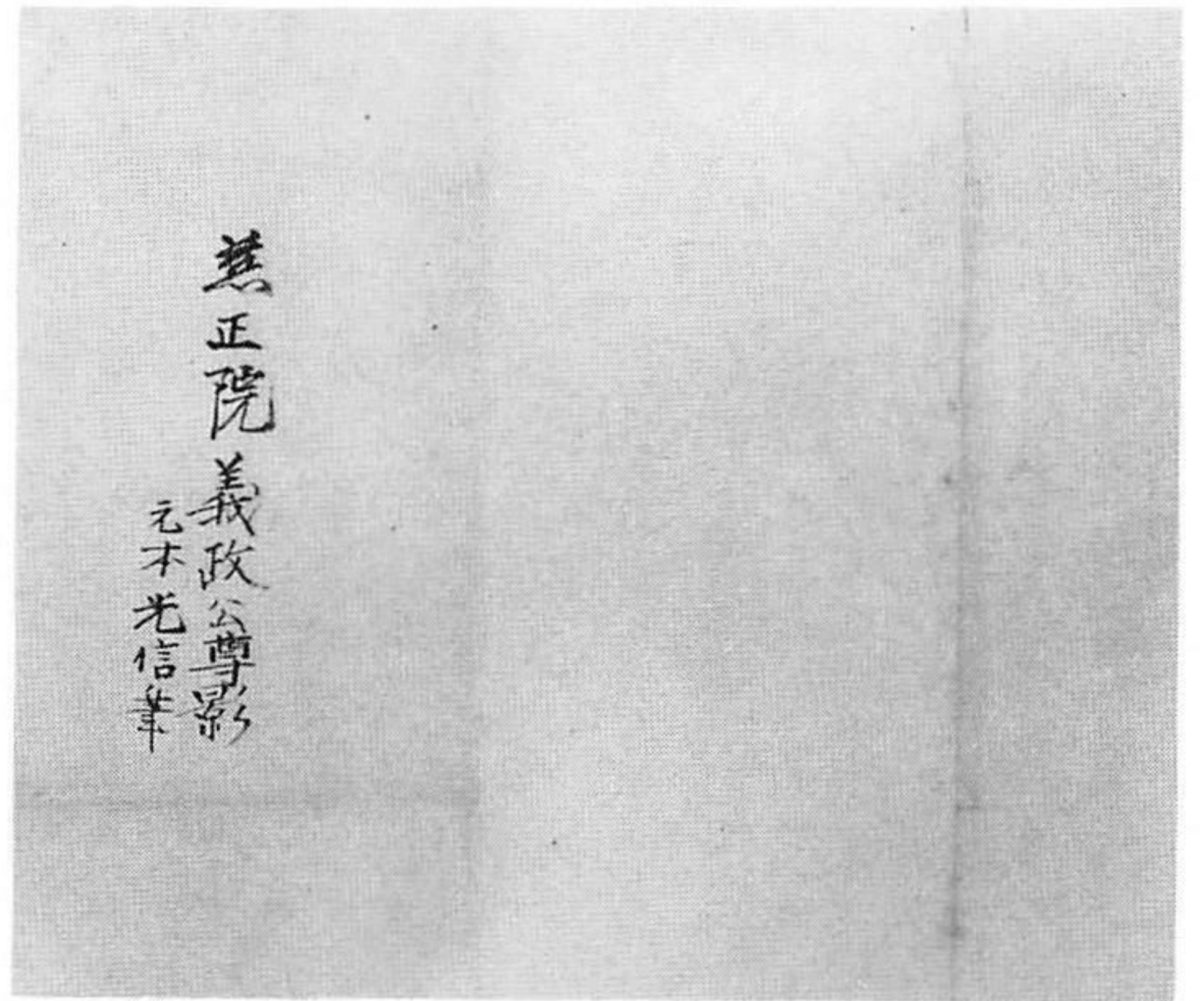
八八 鳥羽院像  
紙本墨画 一枚 四〇五×五六三  
明治二八年(一八九五)  
土佐光武  
裏面左下に十二弁菊文あり

(左墨書)「鳥羽院様御震影勸修寺前大納言様御家藏云正鄰藏印形明治廿八年一月五日写之」  
(光武)  
(中下墨書)「御直衣紺青曲衣摺并御紋等紺書御袴朱堀塗御紋金泥」  
〔画中色指示〕  
(装束)「朱／朱／アサキ／朱」  
(琵琶)「黒／朱土スミク」



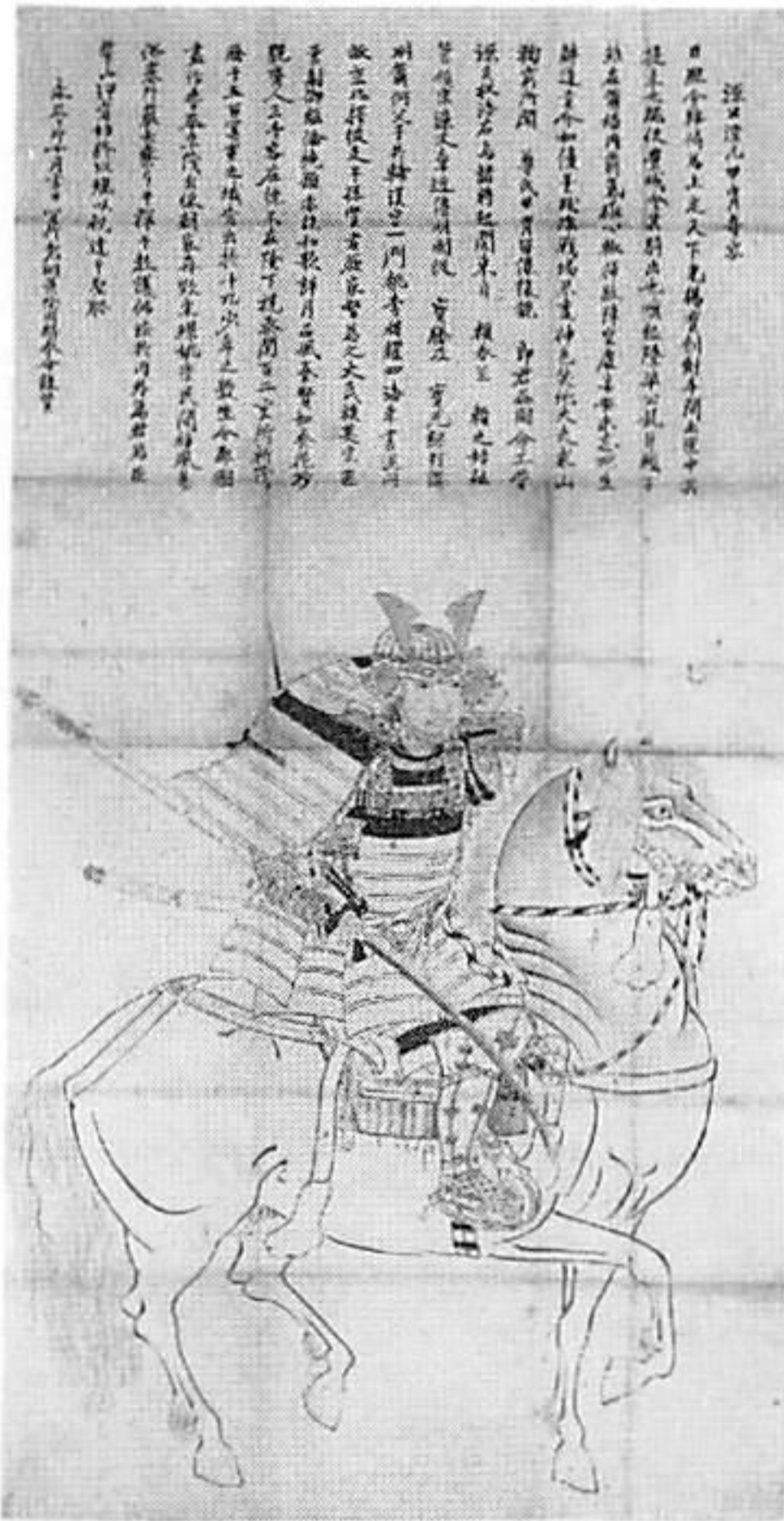
八九 足利義政像  
紙本墨画 一枚 四六三×五九〇

(右)上墨書「慈正院殿義政公御影と申傳光信筆此方有写」  
〔当町上〕  
〔慈福寺ニ木像有〕  
〔御衣似ヨリ候也〕  
〔画中色指示〕  
(鏡台)「文金／地クロ」  
(柱)「クロ／クロ／朱」  
(畳)「タタミ／大文」  
(装束)「クロ／白／アサキ／朱／ロク／コン」



九〇 足利義政像包紙  
紙本墨書 一枚 二八〇×三九八  
八九の包紙

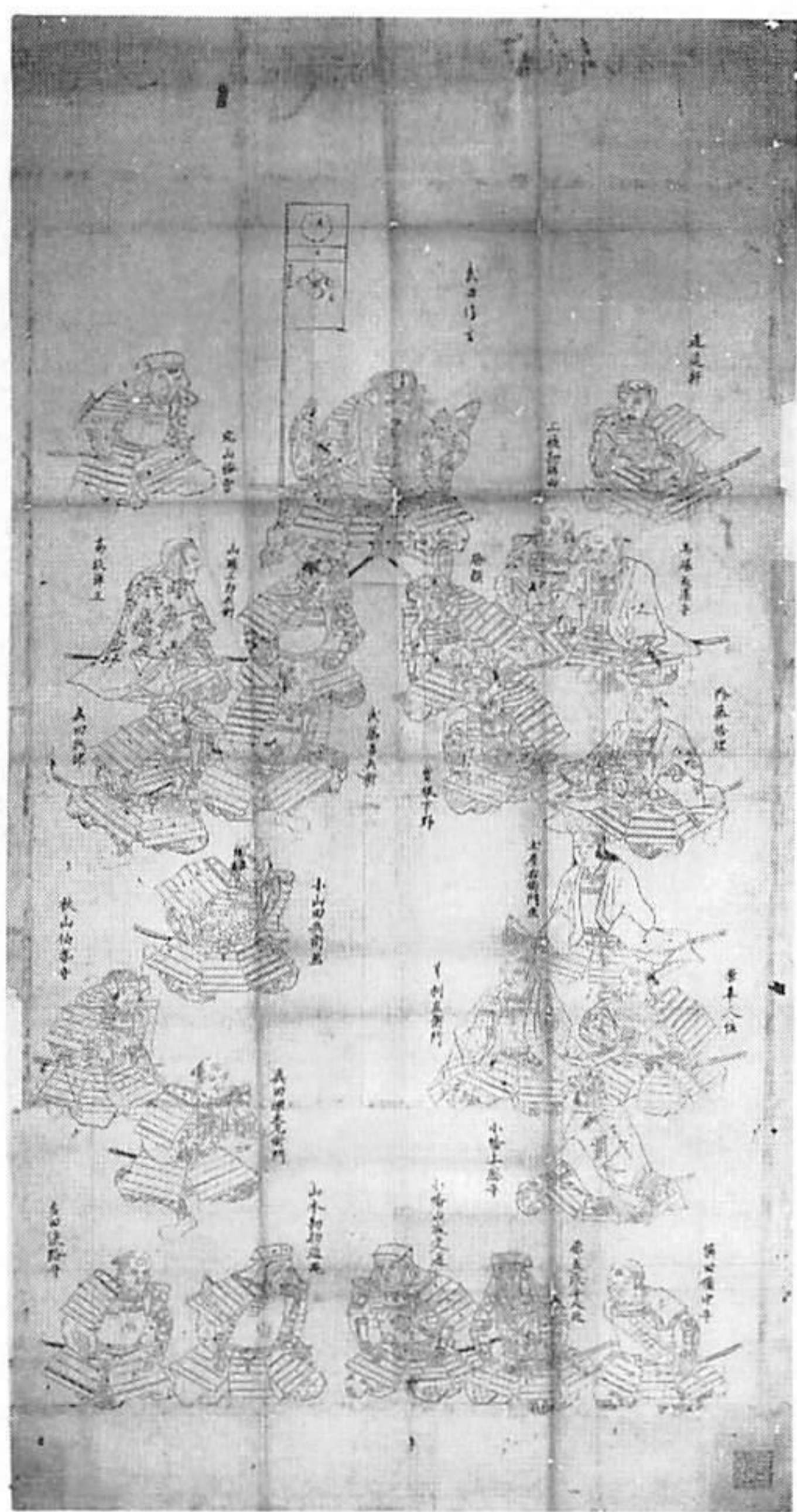
(左墨書表書)「慈正院義政公尊影」  
〔元本光信筆〕



九一 細川澄元像  
紙本墨画淡彩 一枚 一〇八〇×五五六

(贊)「源公澄元甲冑壽容／日照金鞍倚馬上定天下光揚寶劍射斗間出匣中其／提來也驅使豐城令其騎出也喚起隆準公亂臣賊子／雖在蕭牆內霸氣雄心輒掃敵陣空處宴未忘死生／解道貴介如優曇跋臨戰場不變神色笑他大夫求山／鞠躬所聞尊氏甲冑留復親親君畫圖命工昔／源氏取洛右焉諸將起閔東自賴春至賴之始稱／管領宋濂文章近傳明國從寶勝及寶光繼封讚／州蕭何父子共輔漢宮一門桃李相耀四海軍書混同／故京兆擇彼支子孫賢者厥家督為之大氏族英宗匪／音射御離倫絶類亦能和歌評月品風養賢如養花眇／觀齊人三千客在德不在險下視秦閔

(兜)「ク／クロ／ク／ク／ク／ク／ク／ク／地朱スミ文ギン」  
〔タイ／ク／ムラ／ク／クロ／白〕  
(冑)「白／タイ／地キ白ウスク／クロ」  
〔白〕  
六／地クン／ムラ／クロ／タイ／タイ／タイ／丹／丹／丹／タイ／タイ／ムラ／地丹文キ  
ン／クロ／地丹／六／白キウス／ムラ／クロ  
／白／白／白／白／ク／ク／ク／ク／ク／ク／ク  
／ク／クロ／ク／ク／ク／ク／ク／六／ムラ／ム  
ラ／地ウスエン〕  
(鞍)「地クロ／クン／白／地スミタイ／クロ  
／クロ／ク／ク／ク／ク／朱／地クロ／文キン  
／地白／地タイスミ／六／キ白／アイ／タン  
／六／六／六／ク／ク／スミ／タイ／スミタイ  
／文キン／地クロ」  
(馬)「クン／スミアイシロ／スミ／地大トウ  
スク／白」



九二 武田信玄諸將図 (一五七)  
紙本墨画一部淡彩 一枚 一三四八×七二三  
(右下朱文方印)「画所/預印」

(画中墨書及画中色指示)「武田信玄」諏訪法性/上下/大明神「白/六/六/ム/六/六/六/朱/アサキ/シト/丹/シトスミ入ク/アサキ/六/朱/ム/六/六/タ」コン/丹/アサキ「朱/朱/朱/クロ/ヌイメコフン」  
「勝頼」エン/シノタ/朱/コ/エ/コ/朱/朱/シト/シト/エ/朱/六/朱/エ/シト/朱/六/山縣三郎兵衛「アサキ/シ/アサキ/シト/エモンシノタ/シ/アサキ/クサノシル」三枝勘解由「コン/シト/クサノシル/シト/朱/朱/ニク/カキ/六/朱」  
「馬場美濃守」ウスエンシノク/ウラヌリ/ウス/カキ/白ハウト/モソ白/六/シト/六/丹/シト/六/白/シト/エン/コン/白/エン/シト/白/コン「逍遙軒」シトスミ/白/六/コ/コ/エン/コ/朱/六/コ/コ/地イロ/コン/ラウト/スミ/白/六/六/朱/コ/六/コ/六「穴山梅雪」白/ウスカキ/ヲ少入/カキ/アサキ/白/エ/シト/シト/カキ/丹/ウスカキ/モヘキヲトシ六下ノ「ウスカキ/シト/ノグ」高坂弾正「ウス朱スミ/ウ/エン/六/カキ/朱スミ/ウ/コ/六/コ」内藤修理「ウススミ/アサキ/白/コ/シ/アサキ」曾根下野「朱/ウ/ス/カキ/シト/朱/エ/エ/ヲウト/コン/白/六/ムラ」武藤喜兵衛「朱/シト/ウスカキ/六/ス」眞田兵部「カキ/朱/スミ/白/六/アサ/コ/ウスカキ/朱/エンジ/ウスカキ/白/六/茶/エン/コ/ス/シト/「朱」土屋右衛門丞「六/コ/コ/キ」小山田兵衛丞「朱/朱/朱/コ/ハウト/六/朱/六/六/朱/六/白/六/コ/白/六/シト/エン/六/朱/六/白/六/コン」原隼人佐「甘利左衛門」シ/コ/六/六/シ/コ/コ/六/シ/六/シ/コ/六/アサキ/コ/六/アサキ/コ/六/アサ/シト「秋山伯耆守」シ/六/ヲウト/朱/コ/キ/六/キ/六/キ/シ「小幡上総守」朱/朱/タン/紋コフン朱六マゼテ/朱/シト/ノク/コン/六「眞田源太左衛門」アサキ/六/六/丹「横田備中守」丹/モンシト/ウラクサノシル/シ/白/六/チャ/六/ウススミ「原美濃守」入道「白/コ/シ/コン/丹/モン朱/シト/エソ/ウスカキ/コンニテカク/白/六/ウラルリ」小幡山城守入道「上シトクマ/シト/ウラ/朱/白/朱/白/朱/シ/エンシノク/白/白/朱/六/朱/コン/六」山本勘助道鬼「キノク/ウラスミ/クロカハヲトシ/アサキ/モン/コン/六/ウラルリ/朱」多田淡路守「シト/六/アサキ」



九三 伝教大師像 (二五六—二)  
紙本墨画淡彩 一枚 二〇九五×八八〇  
天保一一年(一八四〇)  
土佐光清  
色紙形貼紙

(上部竈字賛)「哭澄上人/吁嗟雙樹下/倚化契如如/惠遠名猶駐/支公業已虛/草深新廟塔/枝掩舊禅居/燈殘座/香煙續像爐/蒼生稍集少/緇侶律儀疎/法體何久住/塵心傷有餘/弘仁十三年十月十七日」  
(右)上墨書「傳教大師」  
(左)下墨書「參議筆御製/輓詩雙鈎二祖和尚書」天保子年/四月下旬/摸寫/梅椿坊江/光清」  
(画中色指示)  
(上部描表具)「六/コン/コン/コン」白/金「地弁ガラ具」地白六茶/朱クムリ/コン/白クムリ/六/六/六/コン「六/アサキ/ク/六/白キ浅黄具」地赤弁カラク「コン/アイク/白/朱クムリ/白六茶/六/白クムリ/コン/コン/六」書ワリスミ/コン/白/金/緑青/アサキ/六/白キ浅黄/グ/金/朱クムリ「緑青クムリ」  
(装束)「白/白キアイグ/シトグ/赤シト茶/黄シトグ」  
(沓)「白/白/白/コン/白/白」  
(水瓶)「白/白/白/白/白/白/白/白」  
白/白/白/白/白/朱」  
(下部描表具)「コ/六/六/コ」コ/六」



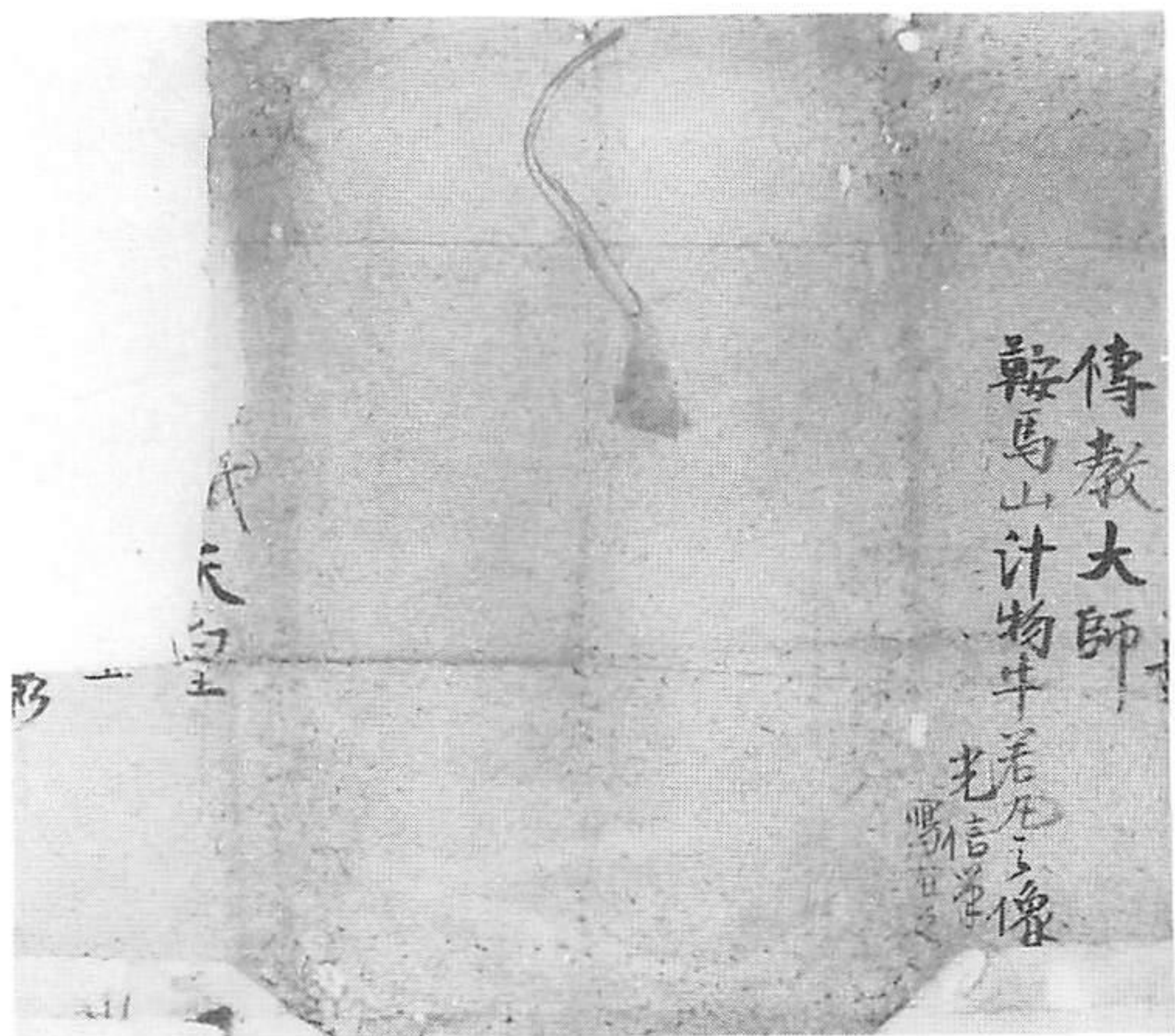


九四 牛若丸像

紙本墨画淡彩 一枚 一二七三×五八九

(左上賛)「印形」乘旄曾上淮陰壇／拉朽摧枯最足觀／克敵能工護身拙／鶴鶴原上曉風寒／初癸酉冬十二月／伊藤維楨謹題「印形」

〔画中色指示〕  
〔屏風〕「クロ」朱具／地燕脂／金地紋／朱墨具「青ニ」緑青／白之毛書「白録」君／泥／クマ／録白「竹緑青付立」筋金「此辺中緑曲」  
〔装束〕「雲母」彫塗「胡粉付立」泥／泥  
〔疊・器物〕「青ニ」緑青「紋金」黄具／彫塗／金「地泥」ヌリ／墨曲地文金  
〔色紙形〕「地白」地浅黄



九五 伝教大師・牛若丸像袋 (一五六―三)  
紙本墨書 一枚 三四〇×三七六  
紙ひも付属

(右墨書表書)「傳教大師／鞍馬山汁物牛若丸之像／光信筆／寫有之」  
(左墨書表書)「峨天皇皇」



九六 法然上人像

紙本墨画淡彩 一枚 八一〇×九一五

明治十七年(一八八四)  
土佐光武

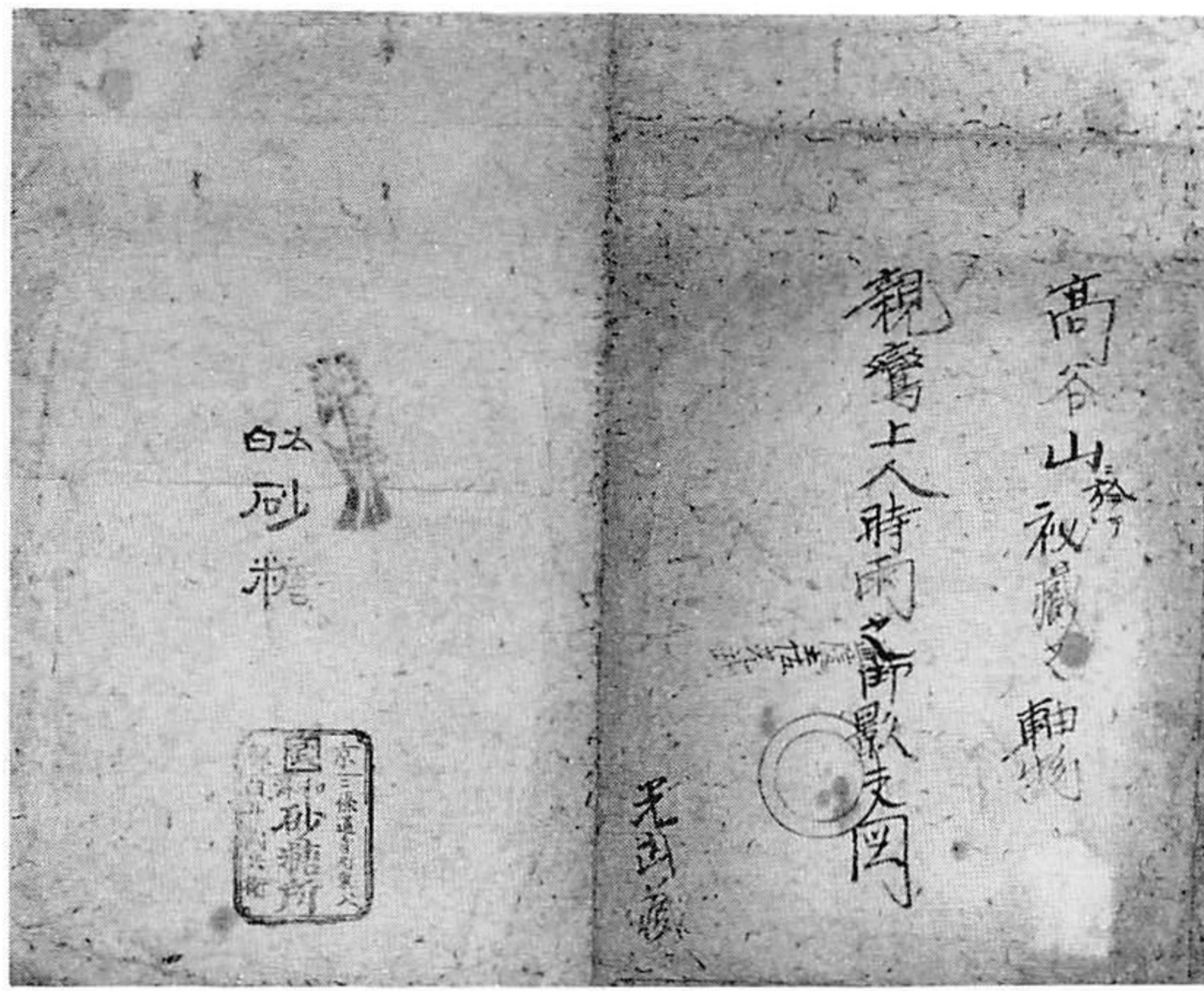
(右上色紙形賛)「我本因地／以念佛心／入無生忍／今於此界」  
〔左上色紙形賛〕「攝念佛人／歸於淨土」  
〔画中色指示〕  
〔装束〕「白／白／白／白」(疊)「六」  
〔包〕「地タンノク」文白六  
〔右下文様〕「金／白／コン／ウン／六ウン」  
〔右上色紙形〕「地白／ギン／白六」  
〔左上色紙形〕「朱」  
〔裏〕  
(左上墨書)「大坂平野念佛寺之藏／明治十七年八月下旬河原町高田寺中心誠寺ヨリ／依頼ニ付 光武寫之」



九七 親鸞上人像

紙本墨画一部淡彩 一枚 八一八×三八〇

(上部墨書賛)「正月三日／おも わねハ南無／阿弥陀佛／思ふ仏ハ／南無阿ミたふつ／南無阿弥陀佛／寶治元丁未年／親鸞畫花押」  
〔画中色指示〕  
〔衣〕「白／白／白」



九八 親鸞上人像 (三八七—二)  
紙本墨画 一枚 五五七×五六五

(右) 墨書「繪筆者定禅筆裏書アリ法楷文」  
(中) 墨書「弘長元辛酉年四月八日釋親鸞  
聖人ノ八十ニテ逝去九十逝去」影ノカウトノ  
クノ常位」

(左) 墨書「南无阿弥陀仏ノ衣ケサクロノ此文  
字大文字寫也」

(左下) 墨書「タムミアリノヘリアサキ」  
〔画中色指示〕  
〔数珠〕「シト」

〔裏〕

(上) 墨書「親鸞ノ上人ノ御影」

九九 親鸞上人像袋 (三八七—三)  
紙本墨画 一枚 三一〇×三九七  
土佐光武

(右) 墨書表書「高谷山ニ於テ秘藏之軸物ノ親  
鸞上人時雨之御影之図ノ光武藏」画院土佐光  
武」

(左) 木版墨刷「太白ノ砂糖」京都ノ三條通寺  
町東入ノ和洋ノ砂糖所ノ白井武兵衛」